

令和4年度宮城県
多文化共生アンケート調査
(日本人対象調査)

調査結果報告書

令和5年3月

宮城県

目 次

I	調査概要	1
	1. 調査の目的	1
	2. 調査対象	1
	3. 調査方法	1
	4. 調査期間	1
	5. 調査票言語	1
	6. 調査項目	1
	7. 回収結果	1
	8. 調査結果の見方	2
II	調査結果	3
	1. 基本属性	3
	(1) 居住地	3
	(2) 性別	3
	(3) 年齢	4
	(4) 職業	4
	2. 多文化共生	5
	(5) 「多文化共生」の認知度	5
	(6) 「やさしい日本語」の認知度	6
	(7) 外国人（外国籍または外国にルーツを持つ人）に対する印象	7
	(8) 日常生活において外国人を見かけるか	11
	(9) 日本で生活する外国人が増えることについて	11
	(10) 外国人の友人・知人の有無	13
	(11) 外国人の友人・知人と知り合ったきっかけ	13
	(12) 地域の外国人との付き合い方	14
	(13) 外国人とのコミュニケーション手段	14
	(14) 地域の外国人とのトラブル	15
	(15) 地域の外国人との今後の付き合い方	17
	(16) 宮城県の積極的な外国人の受け入れについて	18

(17) 外国人と共生するために日本人に必要なこと	20
(18) 日本で暮らす外国人に希望すること	22
(19) 「みやぎ外国人相談センター」の認知度	25
(20) 宮城県や公益財団法人宮城県国際化協会（MIA）についての情報入手方法.....	25
(21) 多文化共生・国際化が進むのに伴う、自身の対応	26
(22) 多文化共生・国際化が進むのに伴う、宮城県の重要政策	27

参考資料

1. 自由意見一覧
2. アンケート調査票

I 調査概要

1. 調査の目的

県では、「多文化共生社会の形成の推進に関する条例」に基づき、平成31年3月に「第3期宮城県多文化共生社会推進計画」（平成31年度～令和5年度）を策定し、多文化共生施策の基本的方向性と取組方針を定め、これに基づいた施策を実施している。

今後の推進計画の改訂に向けた内容検討のため、県民（18歳以上の日本人県民及び外国人県民）に日常生活での困りごとや、地域での日本人・外国人の関わりについての意識調査を実施した。

2. 調査対象

宮城県内に住民登録のある18歳以上の日本人県民から無作為抽出した方を対象

3. 調査方法

設問法による無記名のアンケート調査（郵送配布・郵送回収・調査票に記載のURLやQRコードからのWEB回答併用）

4. 調査期間

令和4年11月28日（月）～令和4年12月26日（月）

※集計には令和5年1月18日（水）回収分までを含む

5. 調査票言語

日本語

6. 調査項目

1	基本属性	（4問）
2	多文化共生	（18問）
3	自由意見	全23問

7. 回収結果

配付数	返戻数	①調査実施数 (配布数-返戻数)
1,500	8	1,492

郵送回収数	WEB回収数	②有効回収数 (郵送回収数+WEB回収数)	有効回収率 (②/①)
455	136	591	39.6%

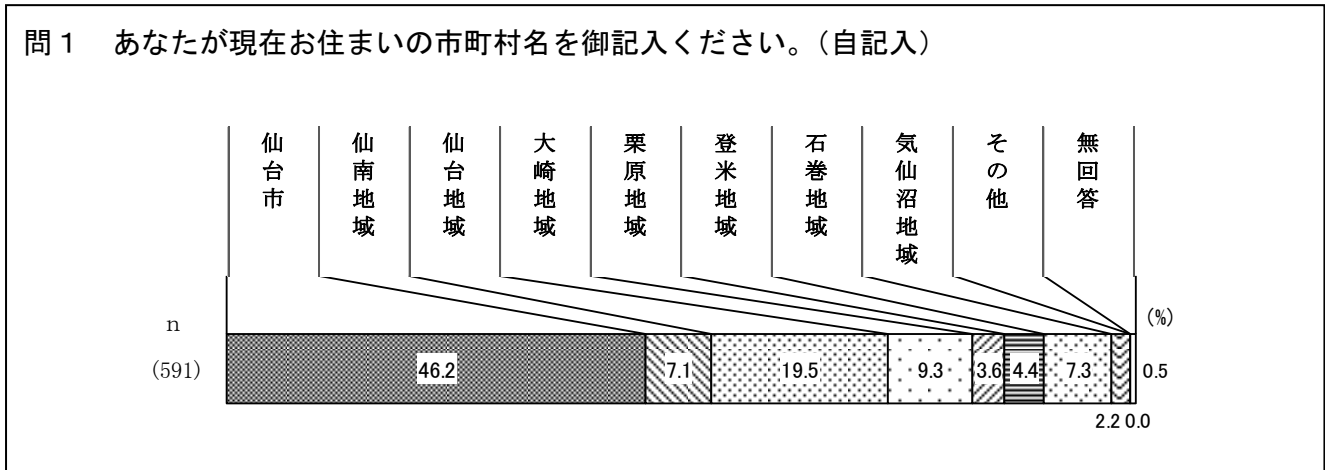
8. 調査結果の見方

- (1) n (number of cases) は比率算出の基数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを示す。
- (2) 回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。したがって、単一回答形式の質問においては、回答比率を合計しても100.0%にならない場合がある。また、回答者が2つ以上の回答をすることができる複数回答形式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の比率を合計すると100.0%を超える。
- (3) 図表及び本文で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- (4) 調査数 (n 値) が少数のものは、回答構成比の信頼性が低いため、文章中の分析では言及していない。

II 調査結果

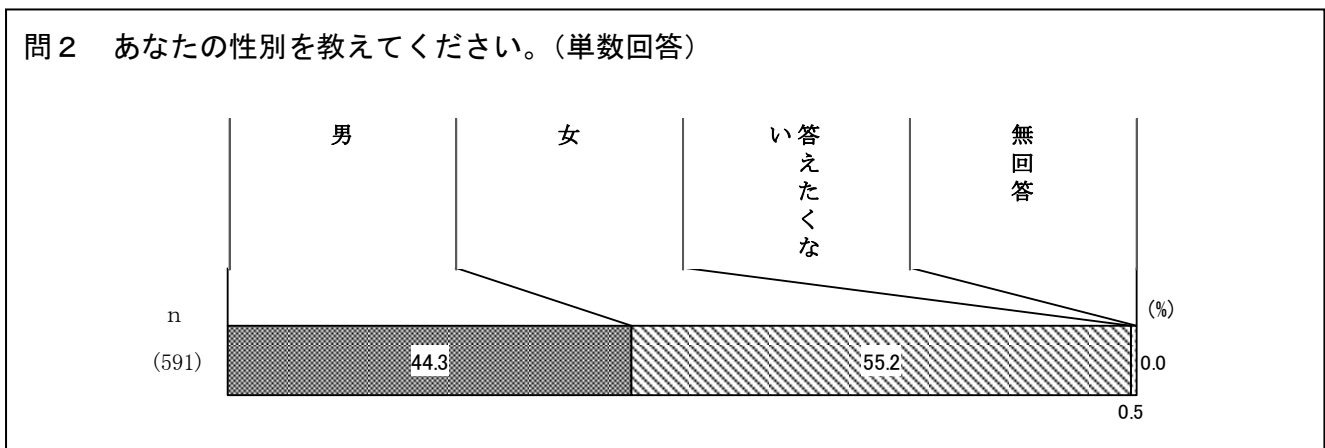
1. 基本属性

(1) 居住地



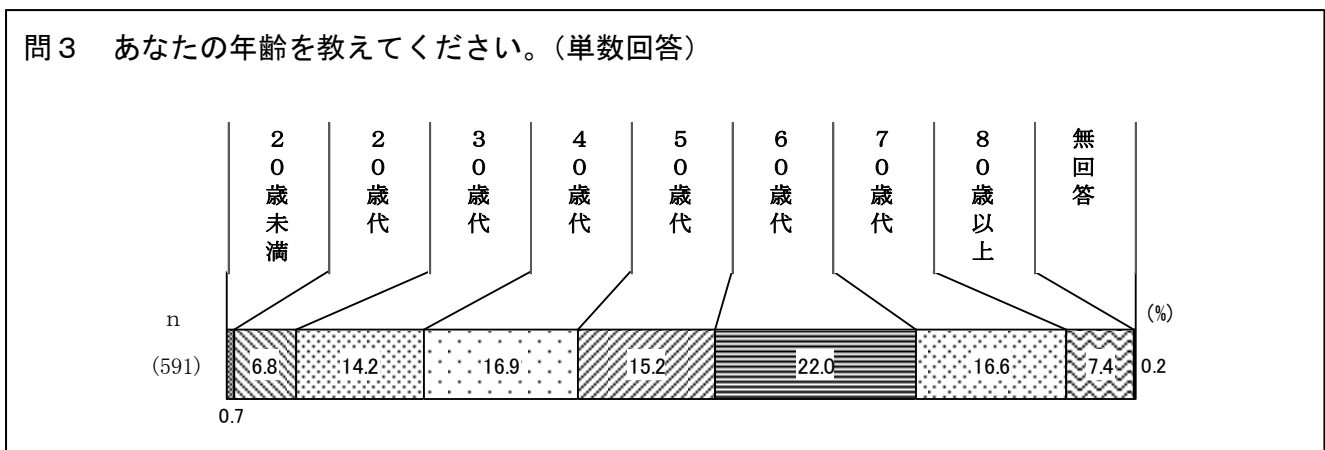
回答者の居住地は、「仙台市」が46.2%と最も多く、以下、「仙台地域」(19.5%)、「大崎地域」(9.3%)、「石巻地域」(7.3%) などとなっている。

(2) 性別



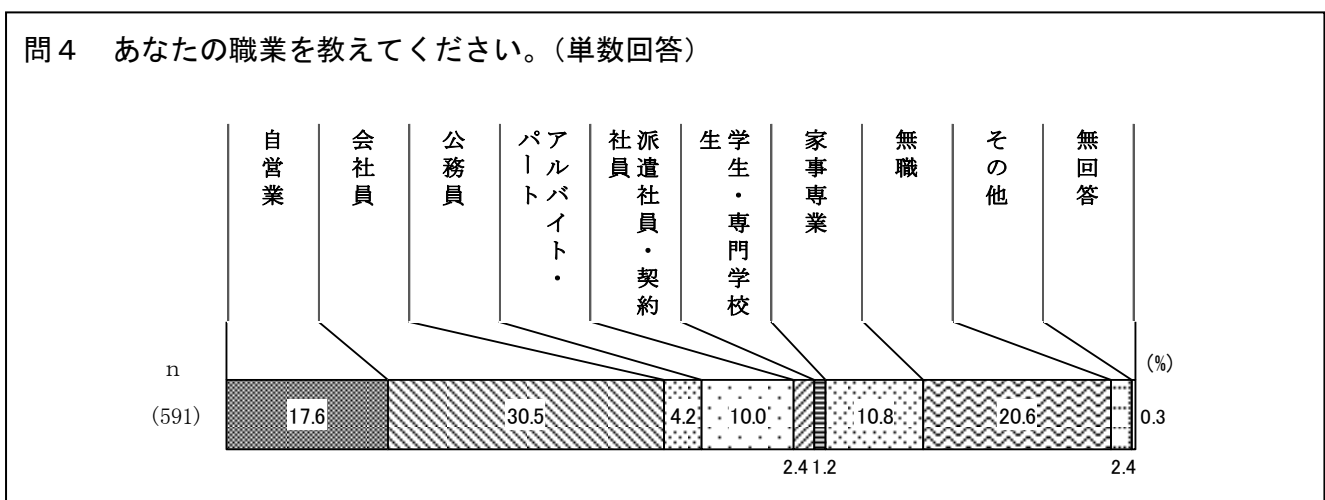
回答者の性別は、「女性」が55.2%と、「男性」の44.3%をやや上回っている。

(3) 年齢



回答者の年齢は、「60歳代」が22.0%と最も多く、以下、「40歳代」(16.9%)、「70歳代」(16.6%)、「50歳代」(15.2%) などとなっており、《60歳以上》の回答者は全体の約5割を占める。

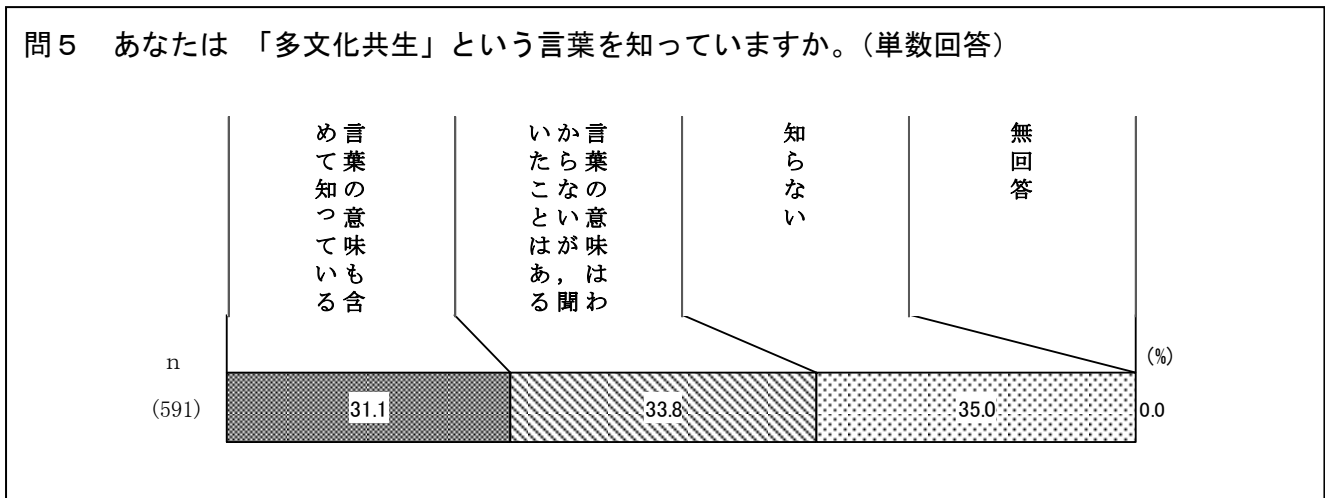
(4) 職業



回答者の職業は、「会社員」が30.5%と最も多く、以下、「無職」(20.6%)、「自営業」(17.6%)、「家事専業」(10.8%) などとなっており、《働いている》人は全体の64.7%を占める。

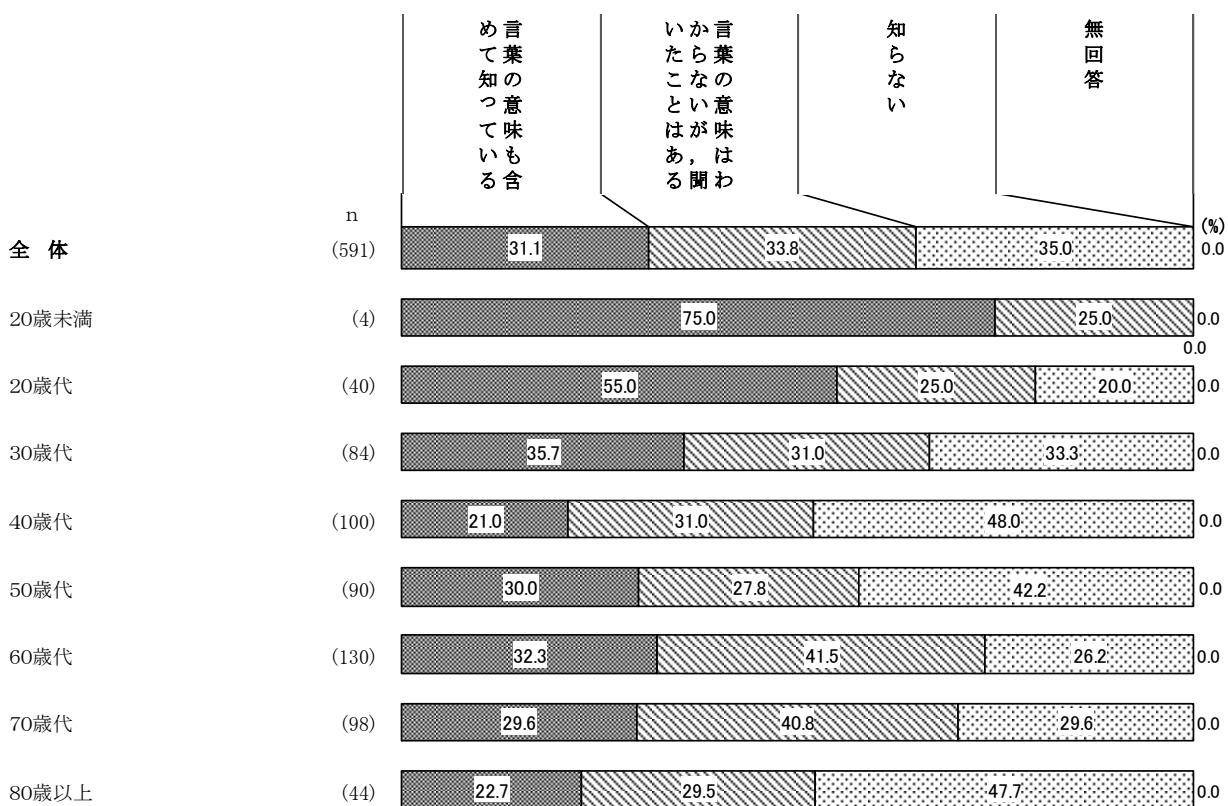
2. 多文化共生

(5) 「多文化共生」の認知度



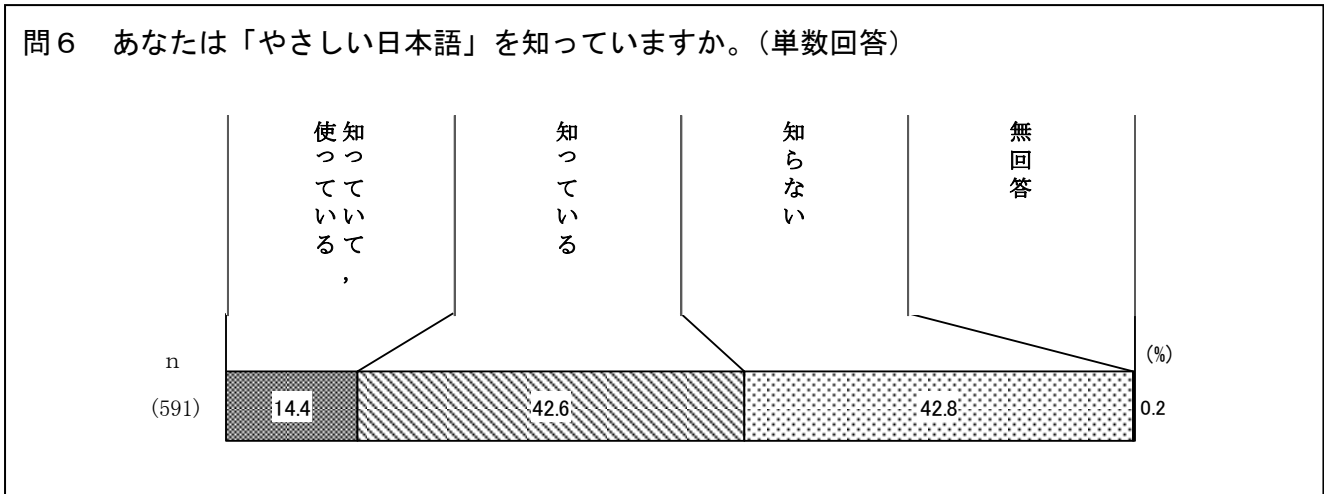
「多文化共生」という言葉の認知度は、「言葉の意味も含めて知っている」は31.1%、「言葉の意味はわからないが、聞いたことはある」は33.8%と、《知っている》人は全体の64.9%を占めるものの、「知らない」は35.0%と最も多くなっている。

【年齢別「多文化共生」の認知度】



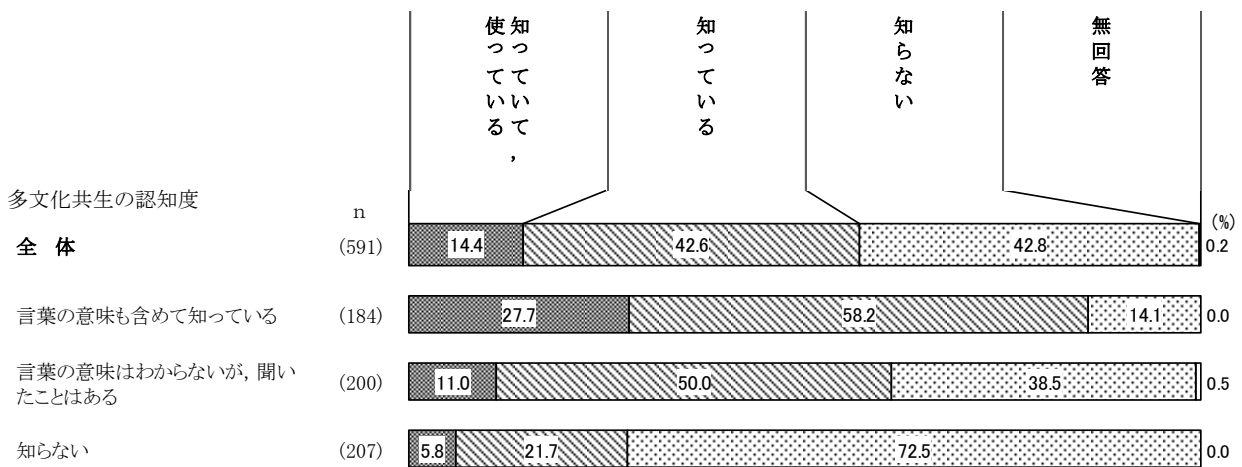
年齢別の「多文化共生」の認知度については、20～30歳代では「言葉の意味も含めて知っている」が他の年齢に比べ多く、20～30歳代や60～70歳代では《知っている》人が60%を超えている。一方、40歳代、80歳代以上は《知っている》人は2割にとどまり、「知らない」が約5割を占める。

(6) 「やさしい日本語」の認知度



「やさしい日本語」の認知度は、「知っていて、使っている」は14.4%、「知っている」は42.6%と、「知っている」人は全体の57.0%を占めるものの、「知らない」が42.8%と最も多くなっている。

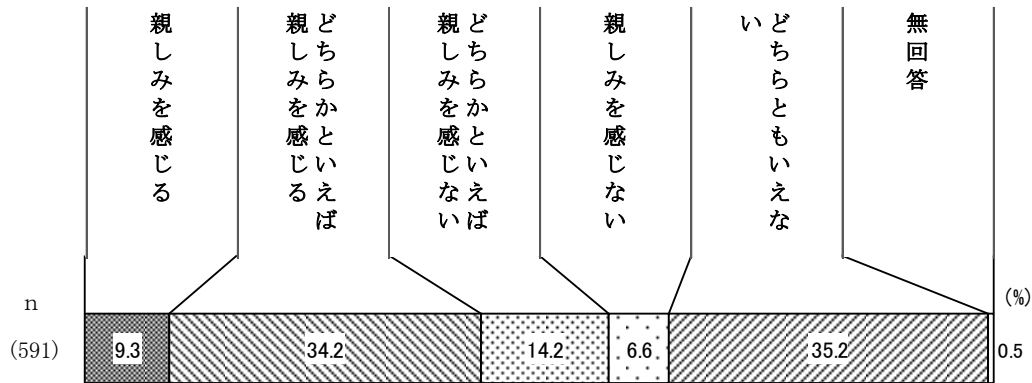
【多文化共生の認知度別 「やさしい日本語」の認知度】



「多文化共生」の認知度別では、「多文化共生」について言葉の意味も含めて知っている、言葉の意味はわからないが、聞いたことがあると回答した人では、「やさしい日本語」についても《知っている》人の割合が50%台となっている。一方、「多文化共生」について「知らない」と回答した人は、「やさしい日本語」についても「知らない」が72.5%と多くなっている。

(7) 外国人（外国籍または外国にルーツを持つ人）に対する印象

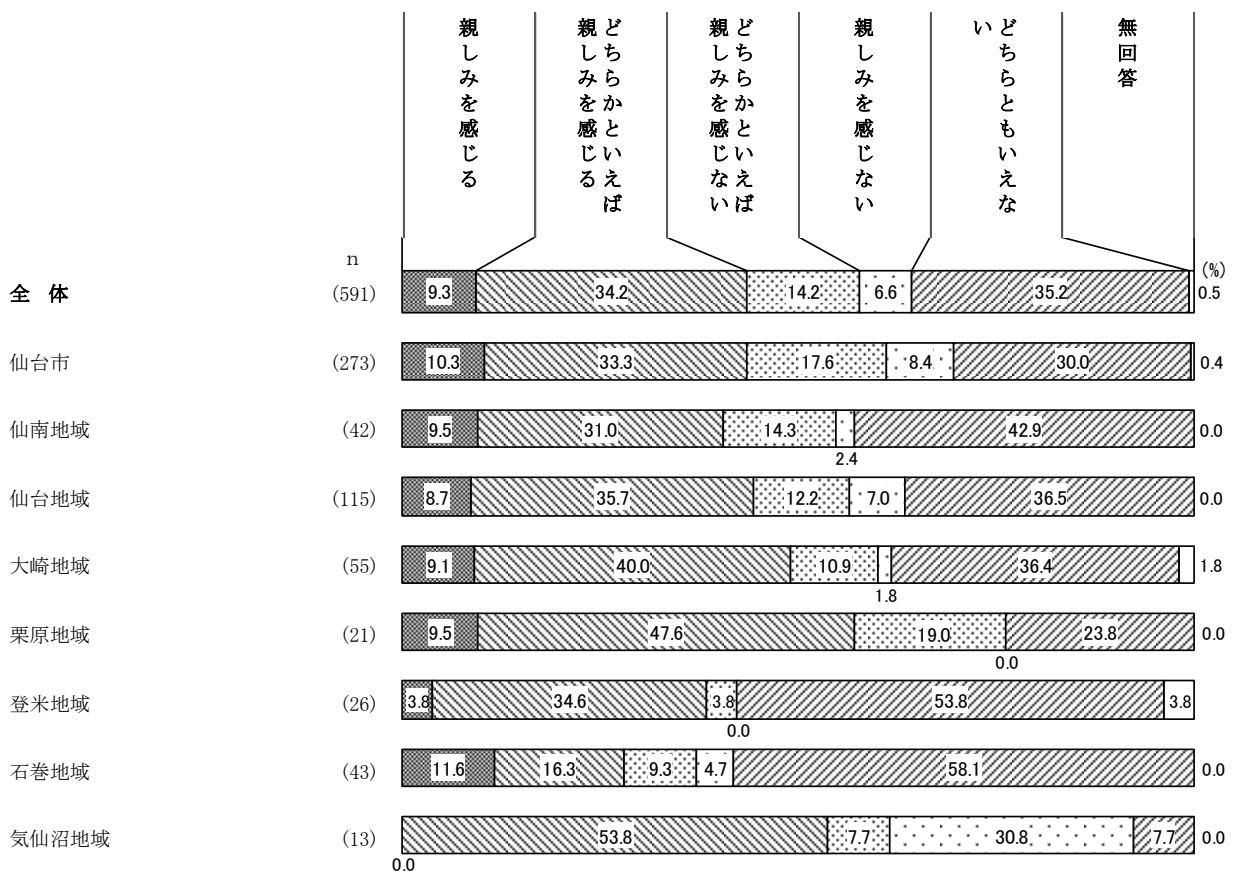
問7 あなたは、外国人（外国籍または外国にルーツを持つ人）に対して、どのような印象を持っていますか。（単数回答）



外国人（外国籍または外国にルーツを持つ人）に対する印象は、「どちらともいえない」が 35.2%と最も多くなっているが、「親しみを感じる」(9.3%)と「どちらかといえば親しみを感じる」(34.2%)を合わせた《親しみを感じる》人は全体で 43.5%となっている。

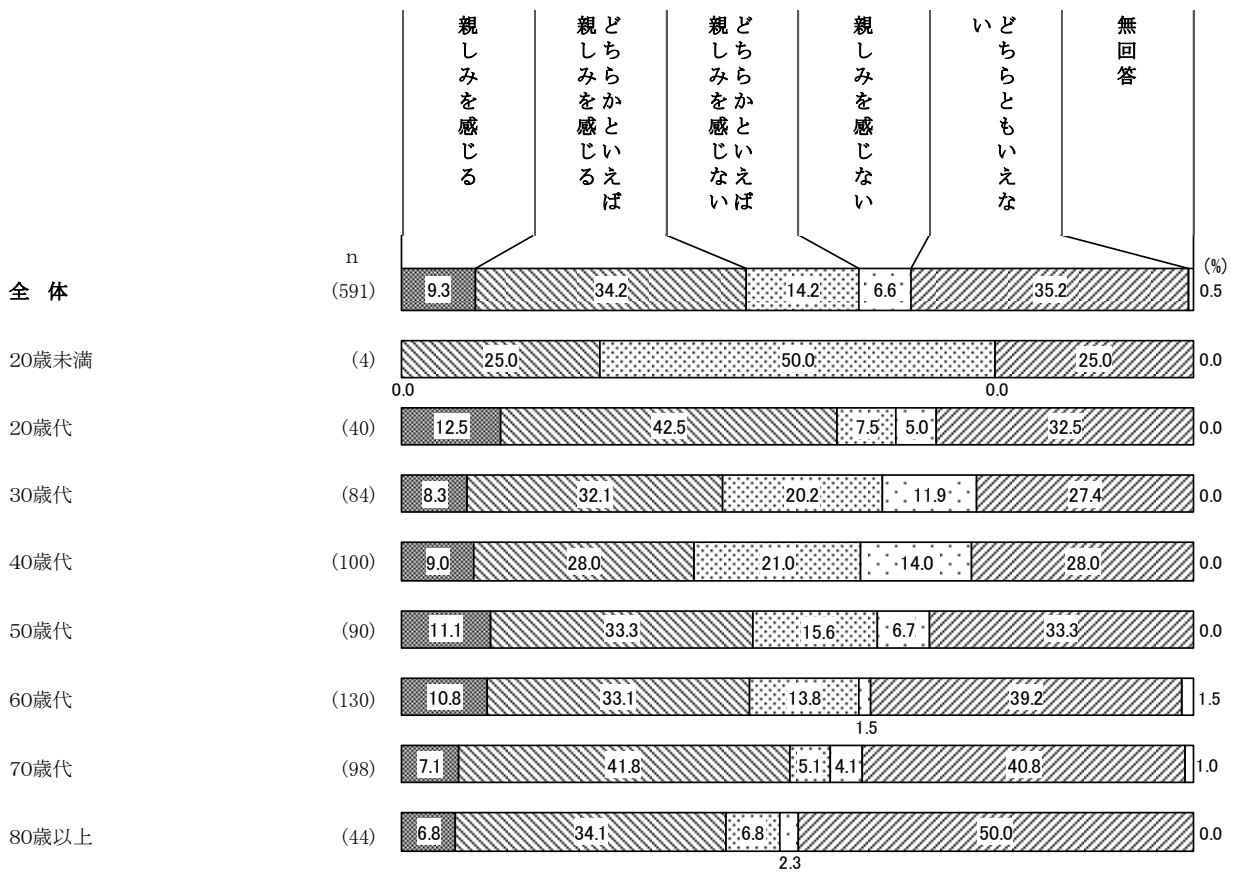
一方、「どちらかといえば親しみを感じない」(14.2%)と「親しみを感じない」(6.6%)を合わせた《親しみを感じない》人は全体で 20.8%となっている。

【居住地別 外国人に対しての印象】



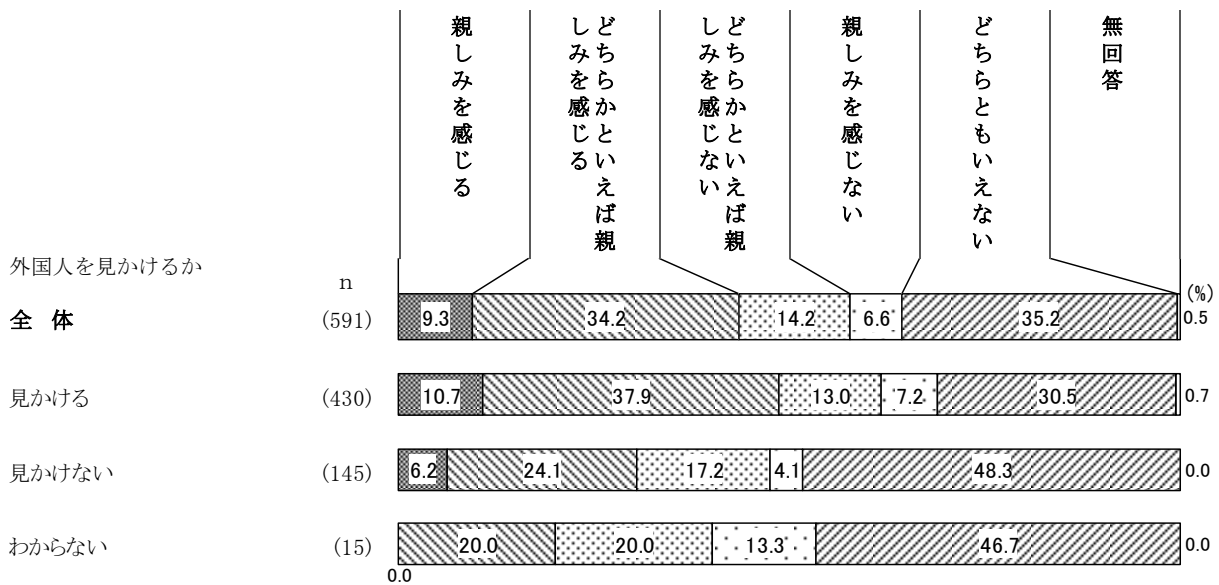
居住地別の外国人に対しての印象については、仙台市、仙南地域、仙台地域、大崎地域、栗原地域では《親しみを感ずる》人は40%を超えている。一方、登米地域、石巻地域では「どちらともいえない」が50%台で他居住地より多くなっている。

【年齢別 外国人に対しての印象】



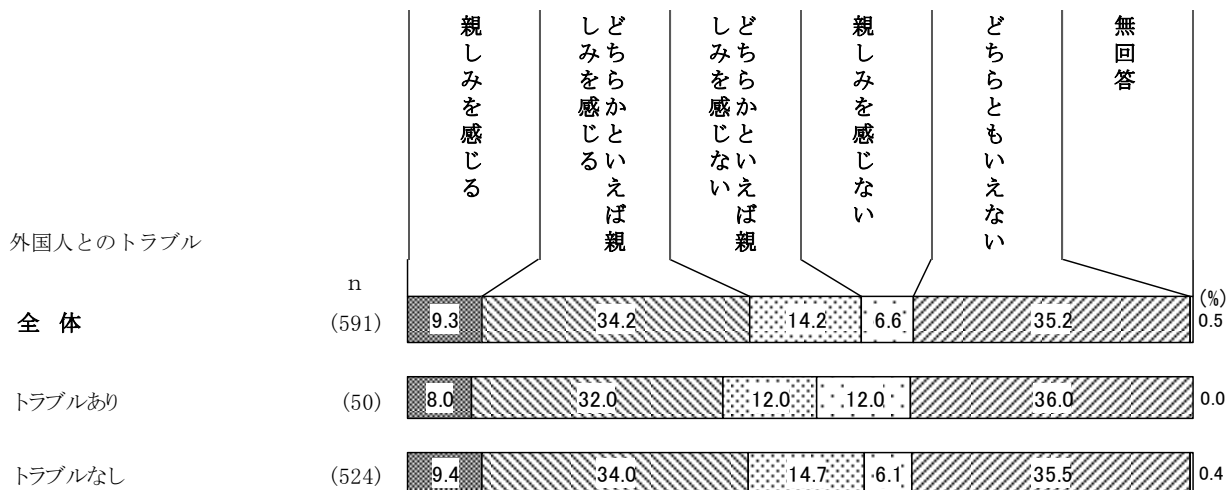
年齢別の外国人に対しての印象については、20歳代では《親しみを感ずる》人が55.0%、30歳代、50歳代以上では40%を超えている。一方、30～40歳代では《親しみを感ずらない》人が他年齢より多く、30%台となっている。また、30歳代以降は年齢が上がるにつれて「どちらともいえない」の割合が増えている。

【日常生活において外国人を見かけるか別 外国人に対しての印象】



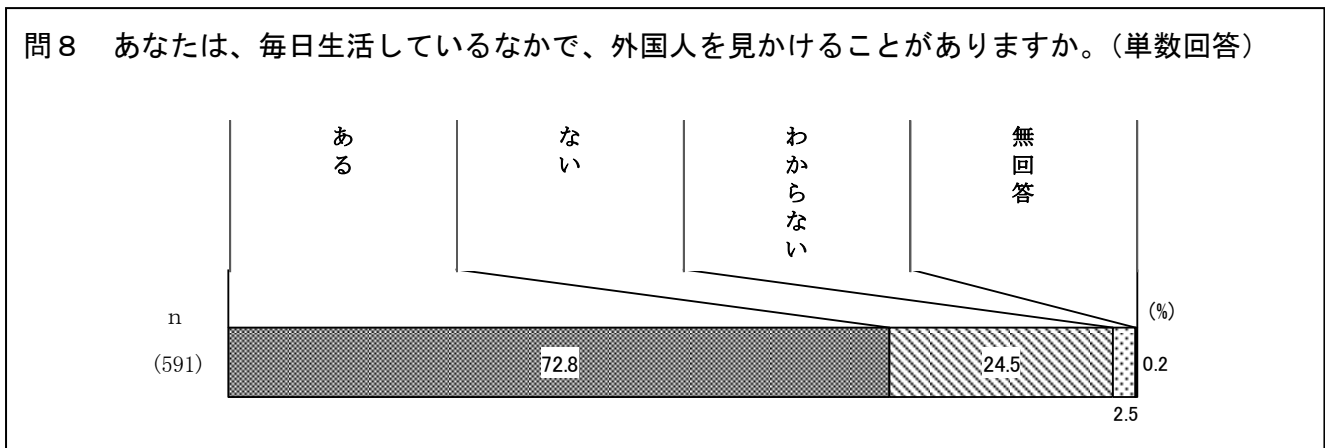
日常生活において外国人を見かけるか別での外国人に対しての印象では、《親しみを感じる》人の割合は見かける人が約 5 割、見かけない人では約 3 割と差があるが、《親しみを感じない》人の割合は、見かける、見かけないともに約 2 割となっている。

【外国人とのトラブルの有無別 外国人に対しての印象】



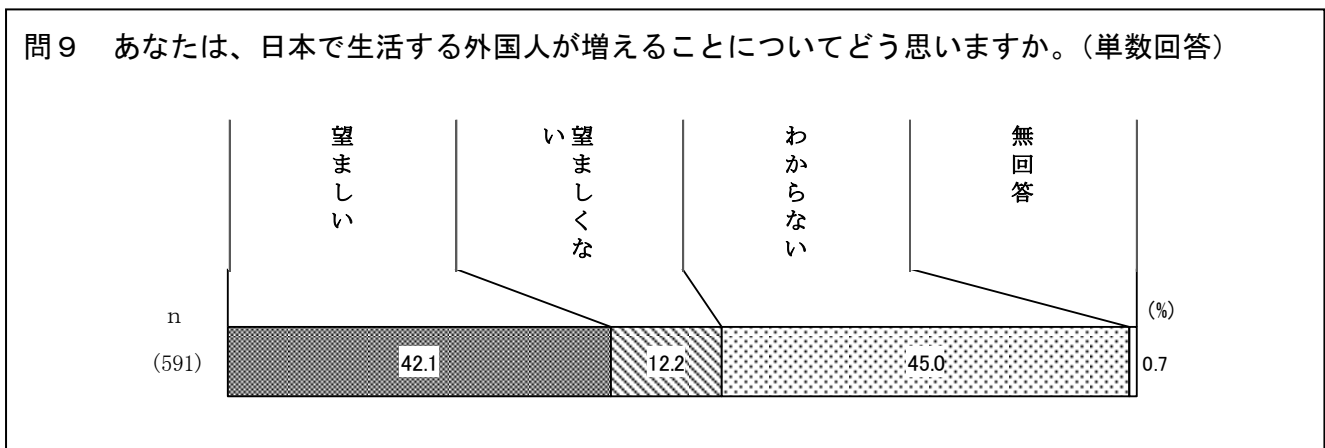
外国人とのトラブルの有無別での外国人に対しての印象では、《親しみを感じる》人の割合は、トラブルなしでは 43.4%だが、トラブルありでは 40.0%と、トラブルなしを 3.4 ポイント下回っている。一方、《親しみを感じない》人の割合は、トラブルなしでは 20.8%だが、トラブルありでは 24.0%と、トラブルなしを 3.2 ポイント上回っている。

(8) 日常生活において外国人を見かけるか



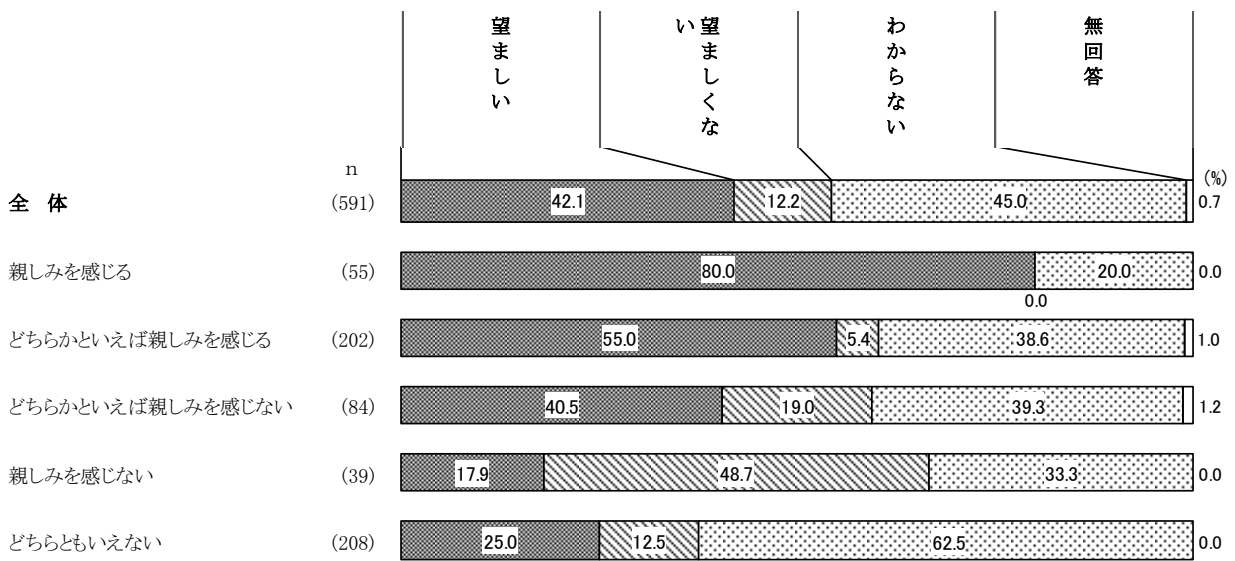
日常生活で外国人を見かけることがあるかは、「ある」が72.8%を占める。一方、「ない」は24.5%、「わからない」は2.5%となっている。

(9) 日本で生活する外国人が増えることについて



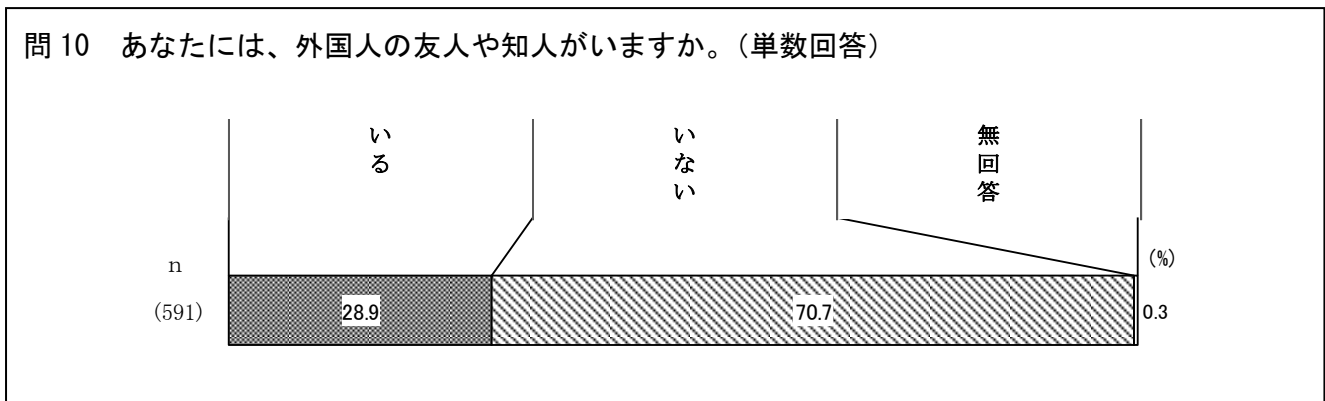
日本で生活する外国人が増えることについてどう思うかは、「望ましい」が42.1%であるものの、「わからない」が45.0%と、「望ましい」を2.9ポイント上回っている。一方、「望ましくない」は12.2%である。

【外国人に対する印象別 日本で生活する外国人が増えることについて】



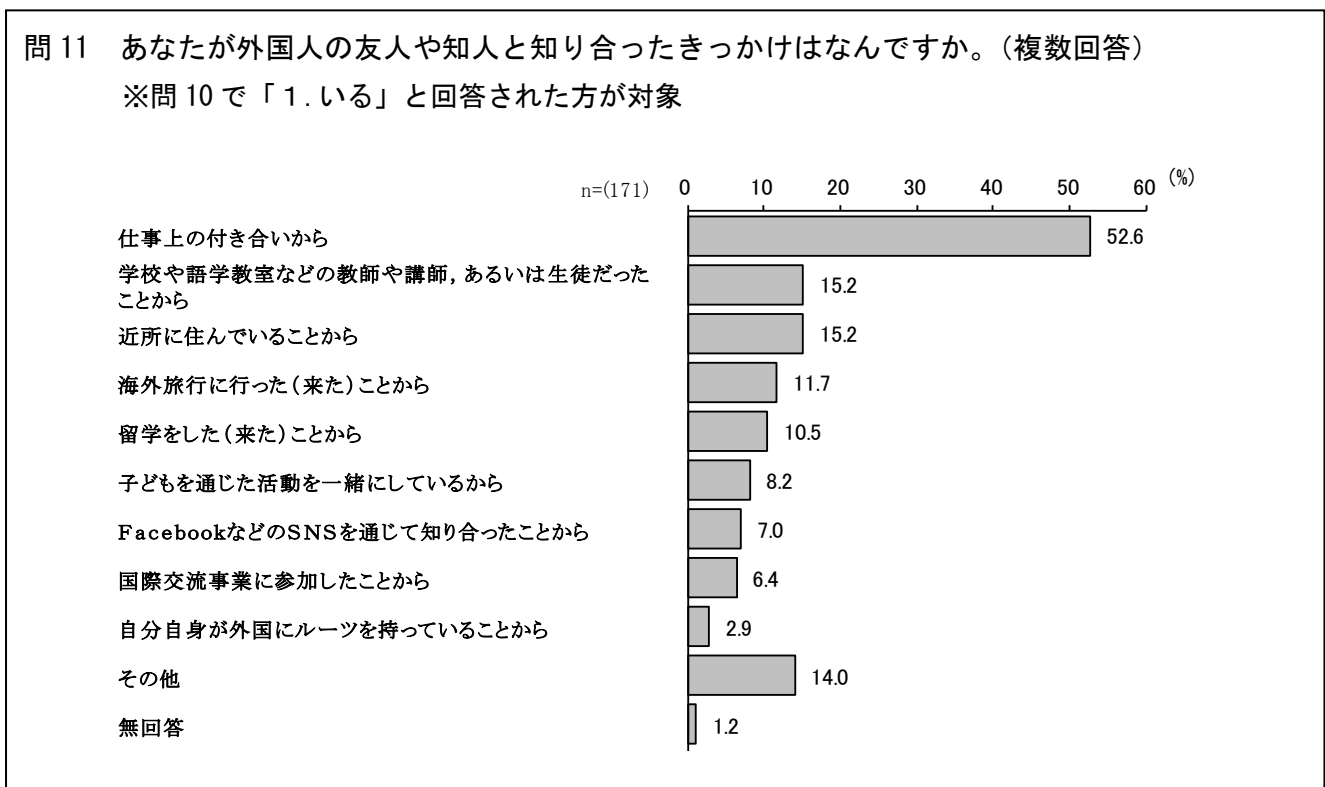
外国人に対する印象別の日本で生活する外国人が増えることについては、親しみを感じる度合いが多いほど「望ましい」の割合が増えており、親しみを感じるでは80.0%となっている。一方、親しみを感じる度合いが少なくなるにつれて「望ましくない」の割合が増え、親しみを感じないでは48.7%となっている。

(10) 外国人の友人・知人の有無



外国人の友人や知人がいるかは、「いる」が28.9%にとどまっており、「いない」が70.7%を占める。

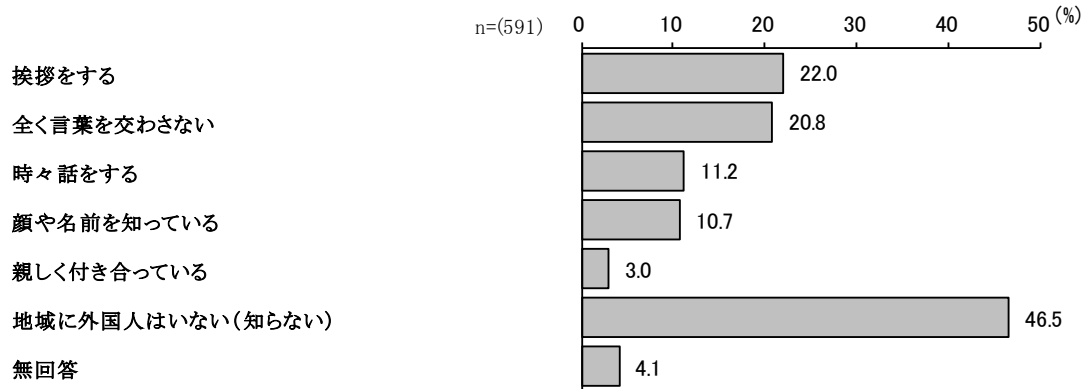
(11) 外国人の友人・知人と知り合ったきっかけ



外国人の友人や知人と知り合ったきっかけは、「仕事上の付き合いから」が52.6%と最も多く、以下、「学校や語学教室などの教師や講師、あるいは生徒だったことから」「近所に住んでいることから」(ともに15.2%)、「海外旅行に行った(来た)ことから」(11.7%)、「留学をした(来た)ことから」(10.5%)などとなっている。

(12) 地域の外国人との付き合い方

問12 あなたは、現在、地域の外国人とどのような付き合いをしていますか。(複数回答)
 ※問10で「2. いない」と回答された方が対象

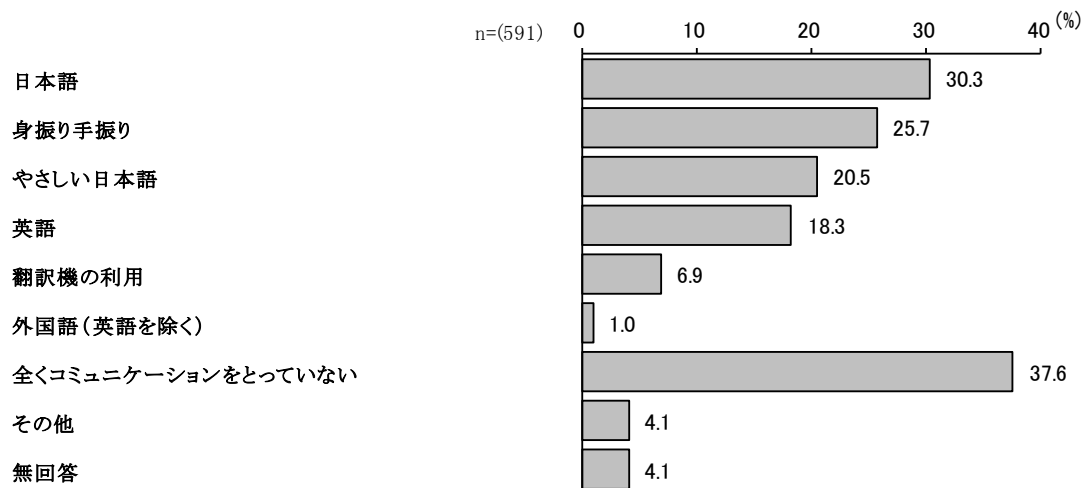


地域の外国人とどのような付き合いをしているかは、「挨拶をする」が22.0%と最も多く、以下、「全く言葉を交わさない」(20.8%)、「時々話をする」(11.2%)、「顔や名前を知っている」(10.7%) などとなっている。

一方、「地域に外国人はいない(知らない)」が46.5%を占める。

(13) 外国人とのコミュニケーション手段

問13 あなたは、外国人とどのようにコミュニケーションをとっていますか。(複数回答)



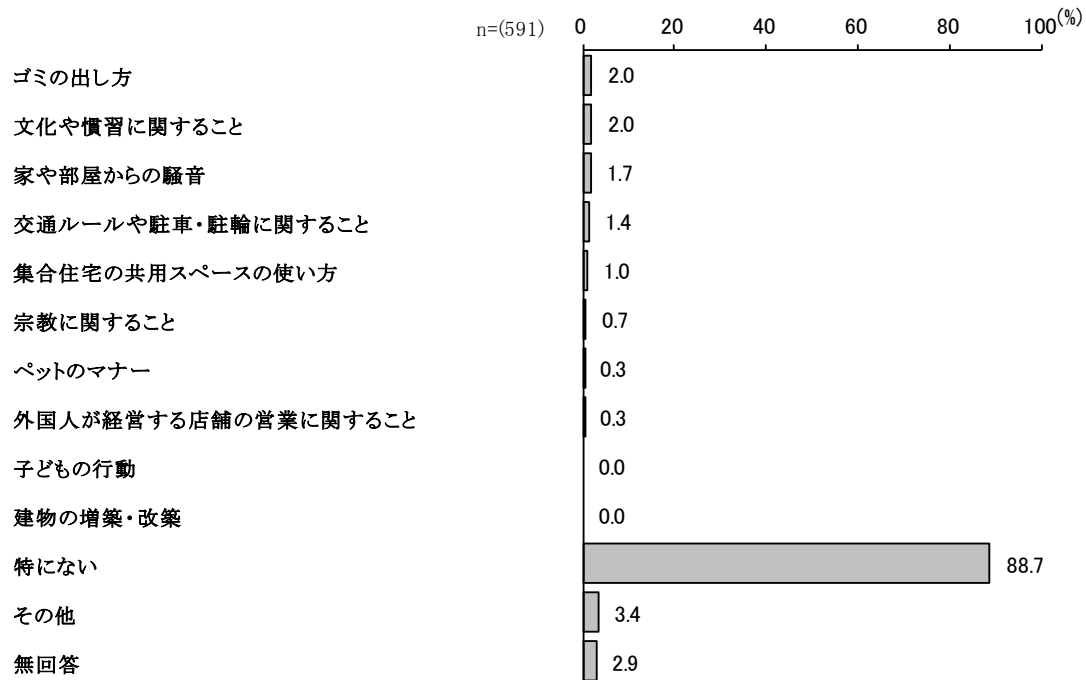
外国人とのコミュニケーション手段については、「日本語」が30.3%と最も多く、以下、「身振り手振り」(25.7%)、「やさしい日本語」(20.5%)、「英語」(18.3%) などとなっている。

一方、「全くコミュニケーションをとっていない」は37.6%となっている。

(14) 地域の外国人とのトラブル

問 14 あなたは、今までに、地域の外国人との間にトラブルがあったことはありますか。

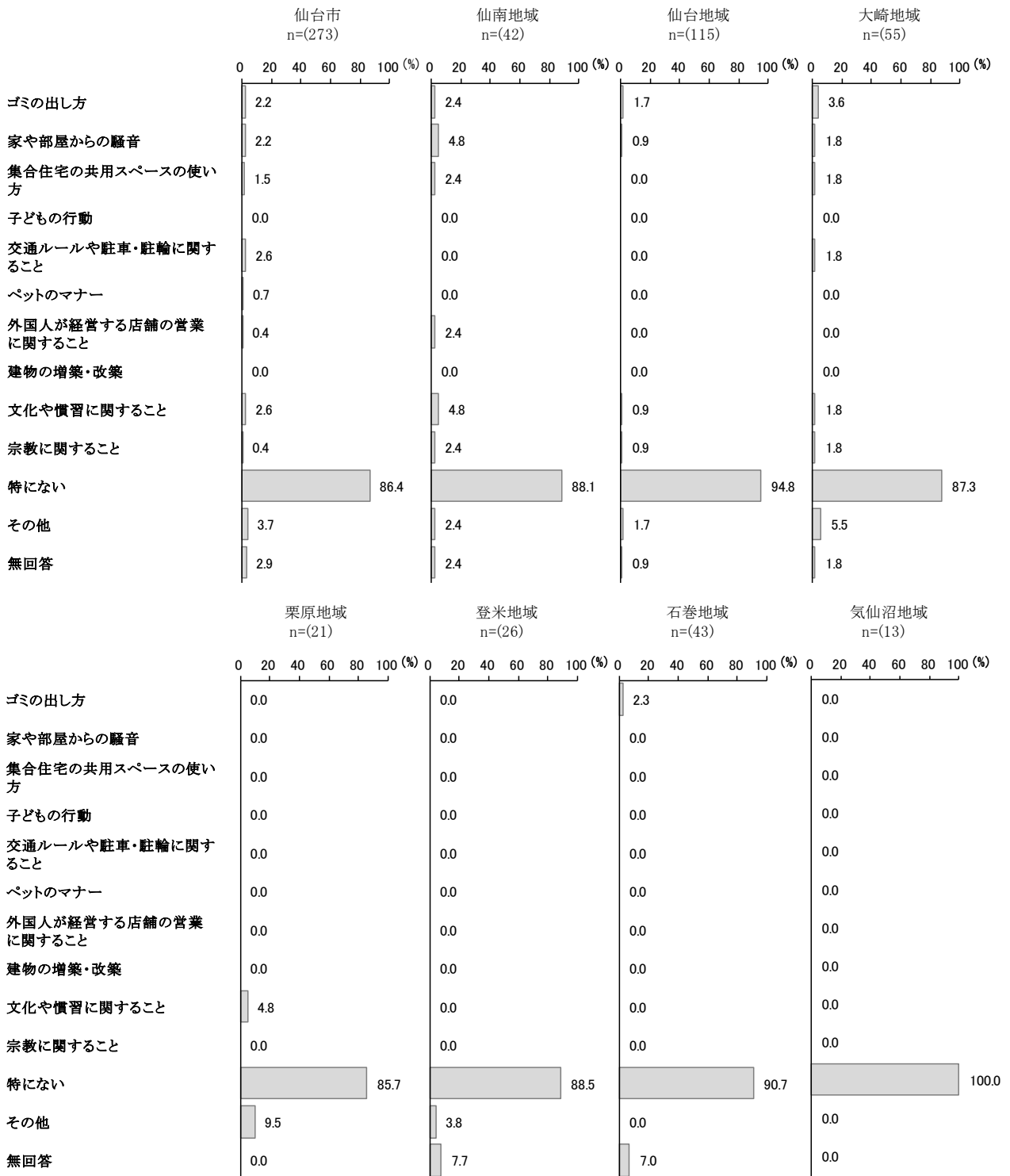
(複数回答)



地域の外国人との間のトラブルについては、「特にない」が88.7%を占める。

一方、何らかのトラブルがあったと回答している人はわずかだがおり、トラブルの内容としては、「ゴミの出し方」「文化や慣習に関すること」(ともに2.0%)、「家や部屋からの騒音」(1.7%)、「交通ルールや駐車・駐輪に関すること」(1.4%)、「集合住宅の共用スペースの使い方」(1.0%)などとなっている。

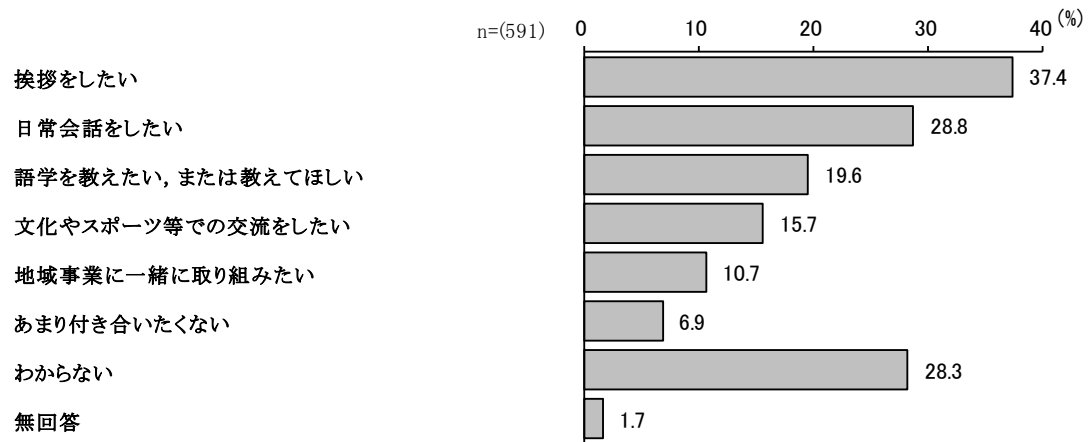
【居住地別 地域の外国人とのトラブル】



居住地別の外国人とのトラブルについては、大崎地域では「ゴミの出し方」(3.6%)、仙南地域では「家や部屋からの騒音」(4.8%)、「集合住宅の共用スペースの使い方」(2.4%)、「外国人が経営する店舗営業に関する事」(2.4%)、栗原地域では「文化や慣習に関する事」が仙南地域とともに4.8%と他居住地より多くなっている。

(15) 地域の外国人との今後の付き合い方

問15 あなたは今後、地域の外国人とどのような付き合いをしていきたいですか。(複数回答)

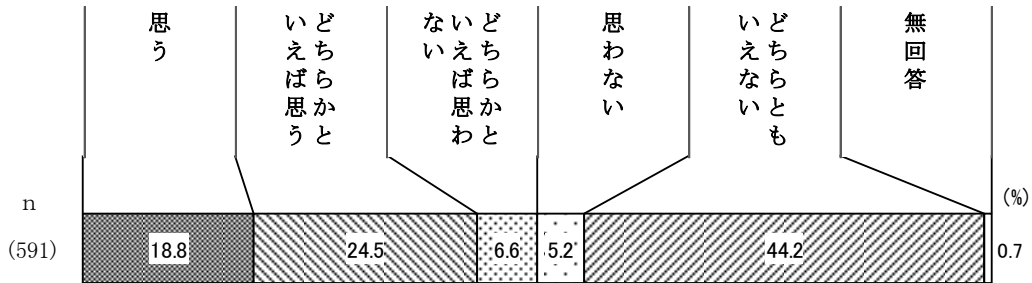


今後希望する地域の外国人との付き合い方は、「挨拶をしたい」が37.4%と最も多く、以下、「日常会話をしたい」(28.8%)、「語学を教えたい, または教えてほしい」(19.6%)、「文化やスポーツ等での交流をしたい」(15.7%) などとなっている。

一方、「あまり付き合いたくない」は6.9%にとどまっているが、「わからない」は28.3%と、不特定層が約3割となっている。

(16) 宮城県の積極的な外国人の受け入れについて

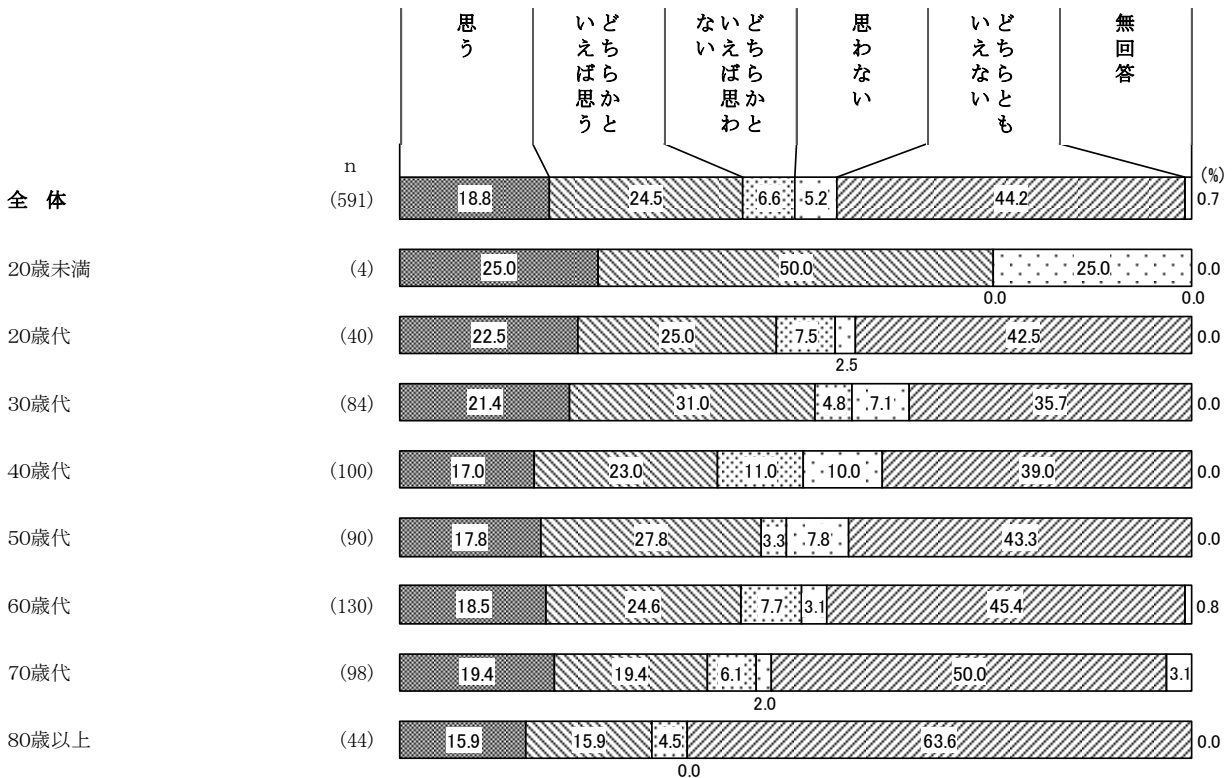
問 16 あなたは、宮城県は積極的に外国人（※）を受け入れるべきだと思いますか。（単数回答）
 ※ここでは、留学や就労等で中～長期で滞在する外国人の方を想定しています。観光客等の短期滞在の方は含まれません。）



宮城県は積極的に外国人を受け入れるべきだと思うかは、「思う」(18.8%)と「どちらかといえば思う」(24.5%)を合わせた《思う》人は43.3%となっている。

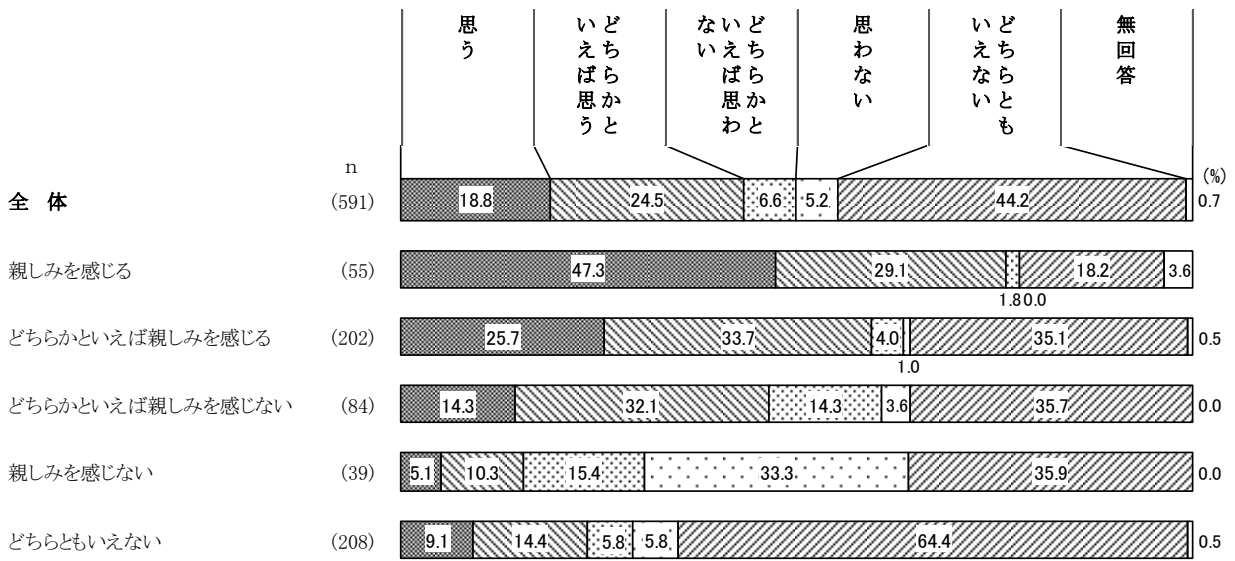
一方、「どちらかといえば思わない」(6.6%)と「思わない」(5.2%)を合わせた《思わない》人は11.8%にとどまっているが、「どちらともいえない」の不特定層が44.2%と、《思う》人をわずかに上回っている。

【年齢別 宮城県の積極的な外国人の受け入れについて】



年齢別の宮城県の積極的な外国人の受け入れについては、20～60歳代では《思う》人が40%を超えており、30歳代では52.4%となっている。

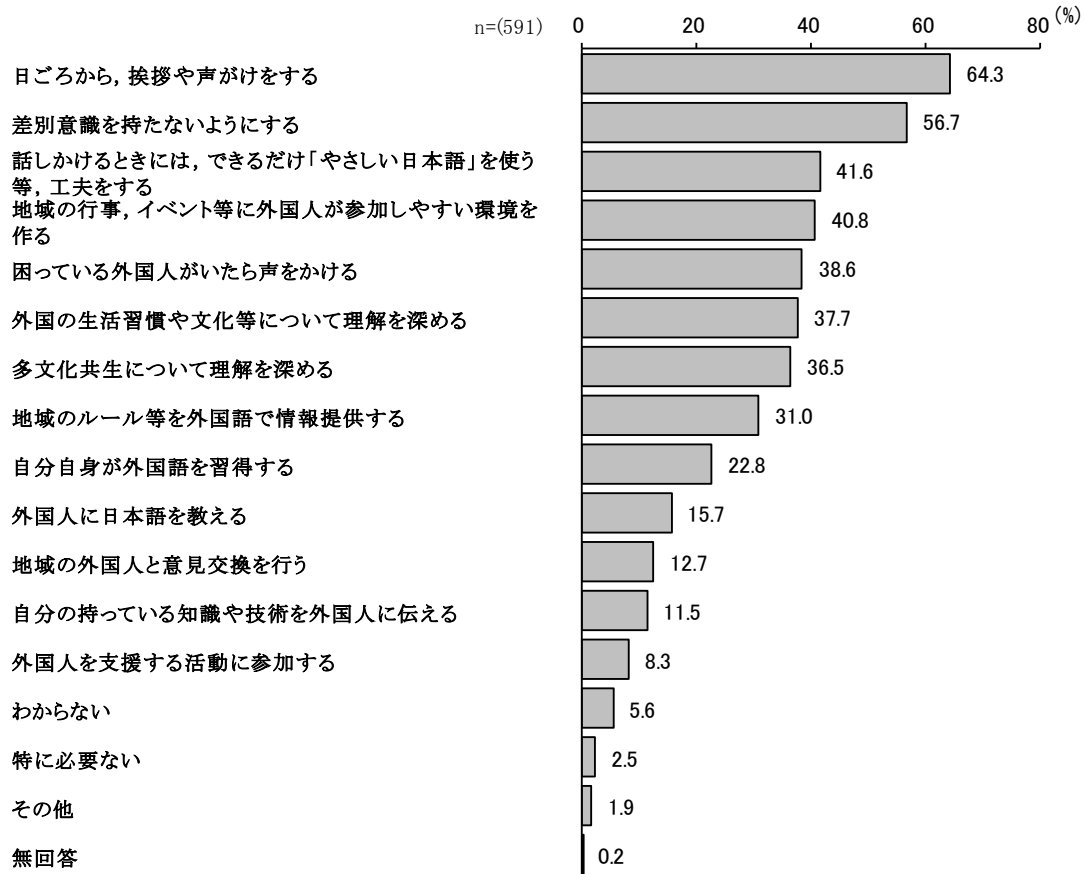
【外国人に対する印象別 宮城県での積極的な外国人の受け入れについて】



外国人に対する印象別の宮城県の積極的な外国人の受け入れについては、親しみを感じる度合いが多いほど《思う》人が増えており、親しみを感じるでは70%を超えている。一方、親しみを感じる度合いが少なくなるにつれて《思わない》人が増え、親しみを感じないでは48.7%となっている。

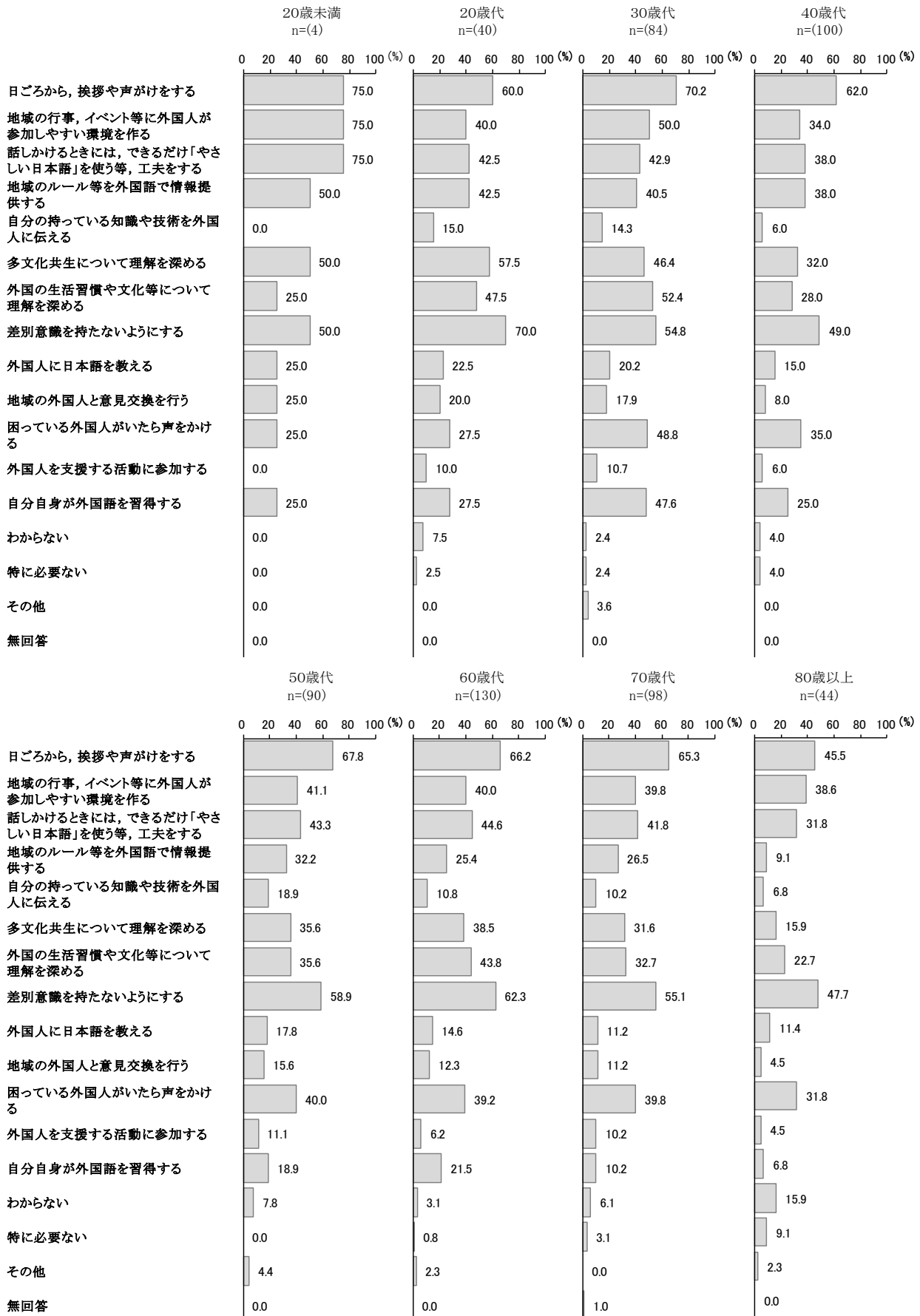
(17) 外国人と共生するために日本人に必要なこと

問 17 外国人と互いに理解しあって生活するために、日本人にはどのようなことが必要だと思いますか。(複数回答)



外国人と共生するために、日本人に必要なことは、「日ごろから、挨拶や声かけをする」が 64.3%と最も多く、以下、「差別意識を持たないようにする」(56.7%)、「話しかけるときには、できるだけ「やさしい日本語」を使う等、工夫をする」(41.6%)、「地域の行事、イベント等に外国人が参加しやすい環境を作る」(40.8%)、「困っている外国人がいたら声をかける」(38.6%) などとなっている。

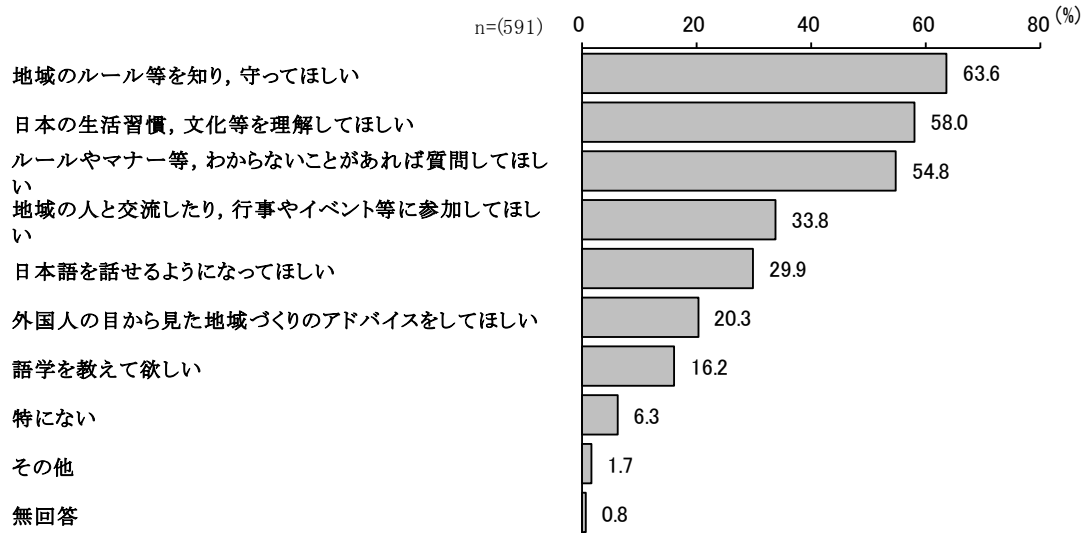
【年齢別 外国人と共生するために日本人に必要なこと】



年齢別の外国人と共生するために日本人に必要なことについては、30～70歳代では「日ごろから、挨拶や声がけをする」が60%を超え、30歳代では70.2%となっている。20歳代、80歳代以上では「差別意識を持たないようにする」が最も多く、20歳代では70.0%となっている。

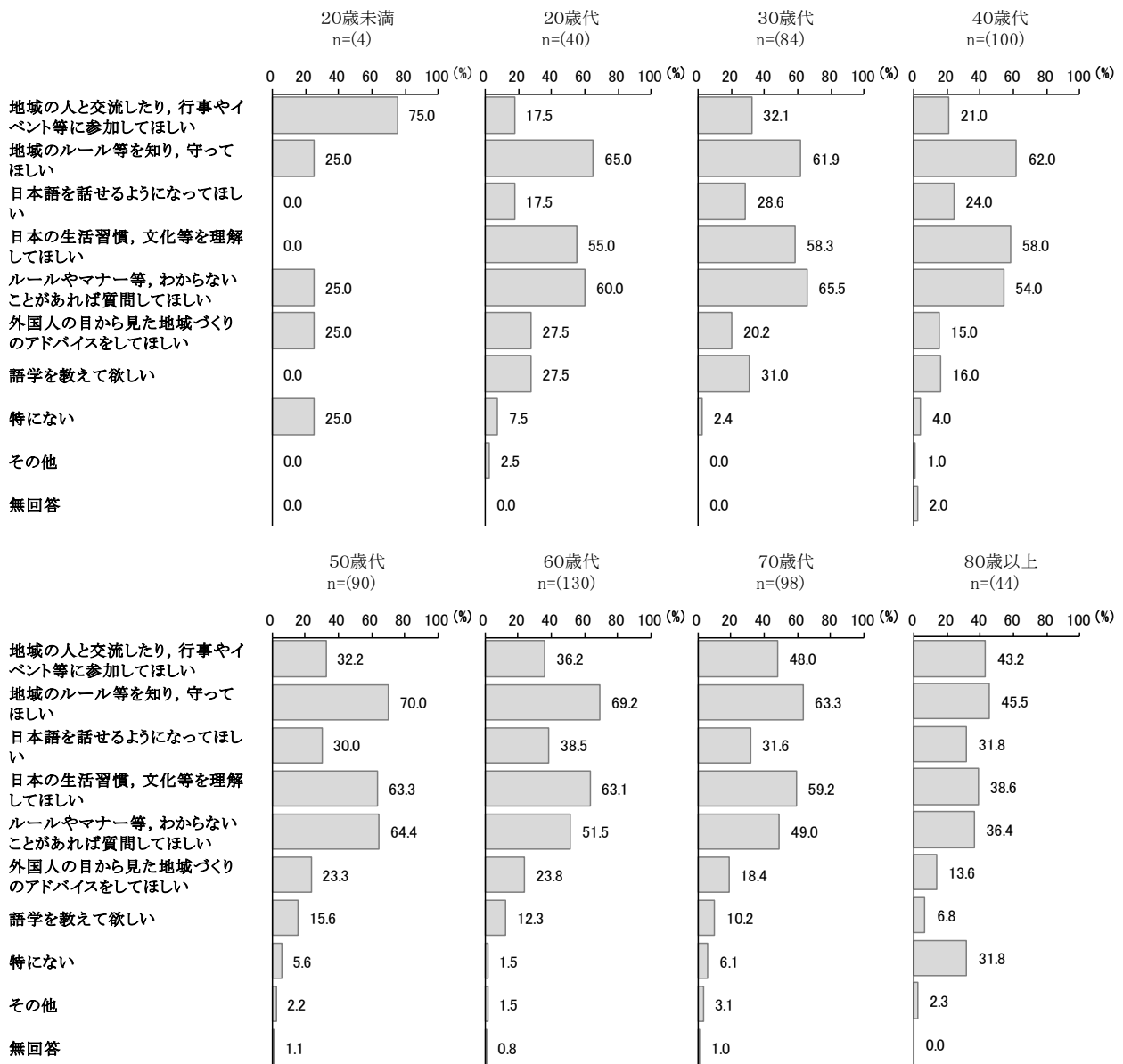
(18) 日本で暮らす外国人に希望すること

問 18 日本で暮らす外国人が日本人と互いに理解しあって生活するために、外国人にどのようなことを希望しますか。(複数回答)



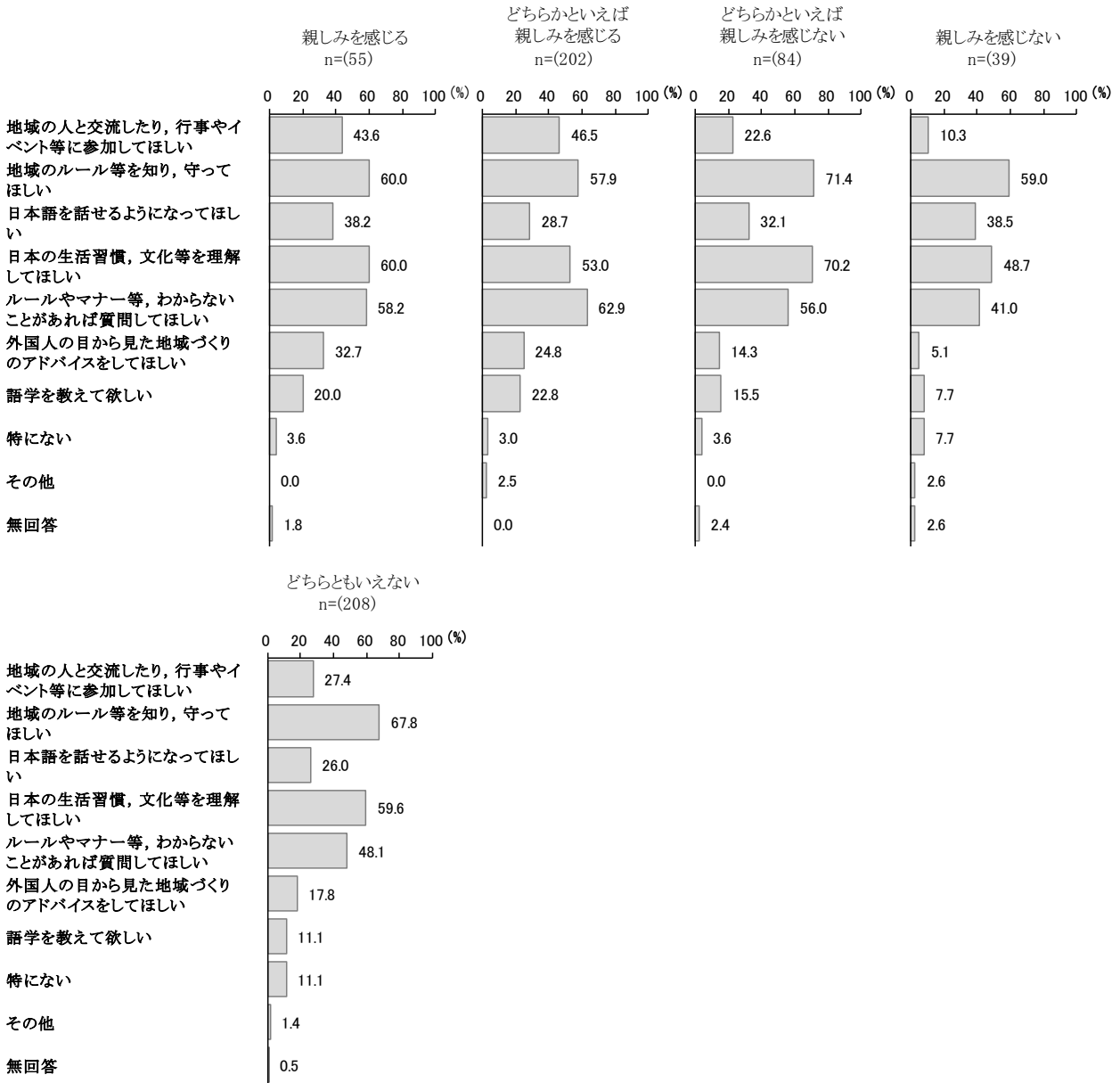
外国人が日本人と共生するために、外国人に希望することは、「地域のルール等を知り、守ってほしい」が63.6%と最も多く、以下、「日本の生活習慣、文化等を理解してほしい」(58.0%)、「ルールやマナー等、わからないことがあれば質問してほしい」(54.8%)、「地域の人と交流したり、行事やイベント等に参加してほしい」(33.8%)、「日本語を話せるようになってほしい」(29.9%) などとなっている。

【年齢別 日本で暮らす外国人に希望すること】



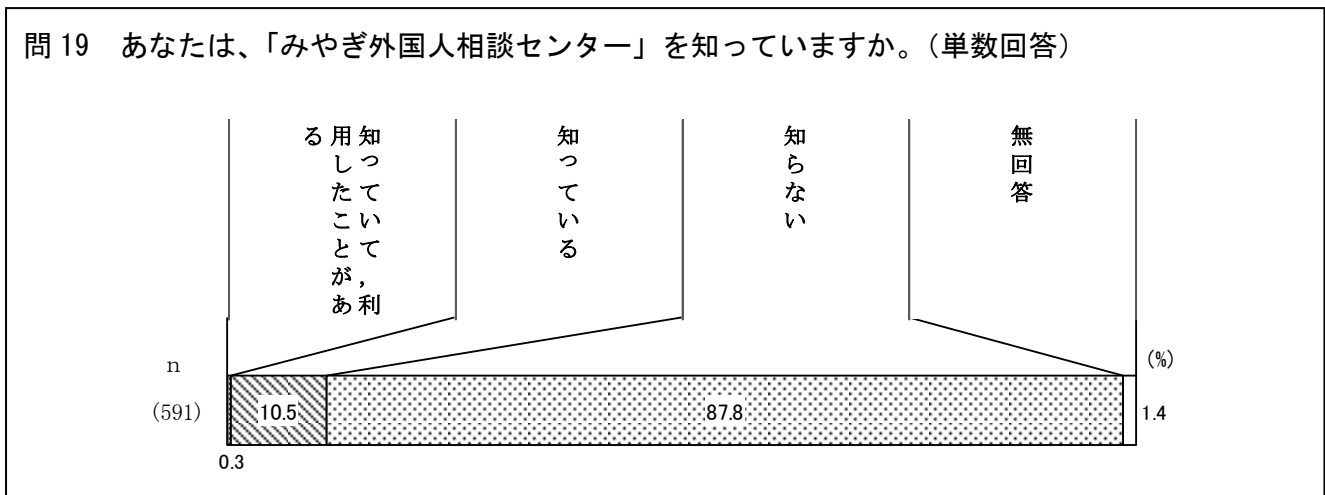
年齢別の日本で暮らす外国人に希望することについては、30歳代では「ルールやマナー等、わからないことがあれば質問してほしい」(65.5%)、「語学を教えて欲しい」(31.0%)、50歳代では「地域のルール等を知り、守ってほしい」(70.0%)、「日本の生活習慣、文化等を理解してほしい」(63.3%)、60歳代では「日本語を話せるようになってほしい」(38.5%)、70歳代では「地域の人と交流したり、行事やイベント等に参加してほしい」(48.0%)などが他年齢より多くなっている。

【外国人に対する印象別 日本で暮らす外国人に希望すること】



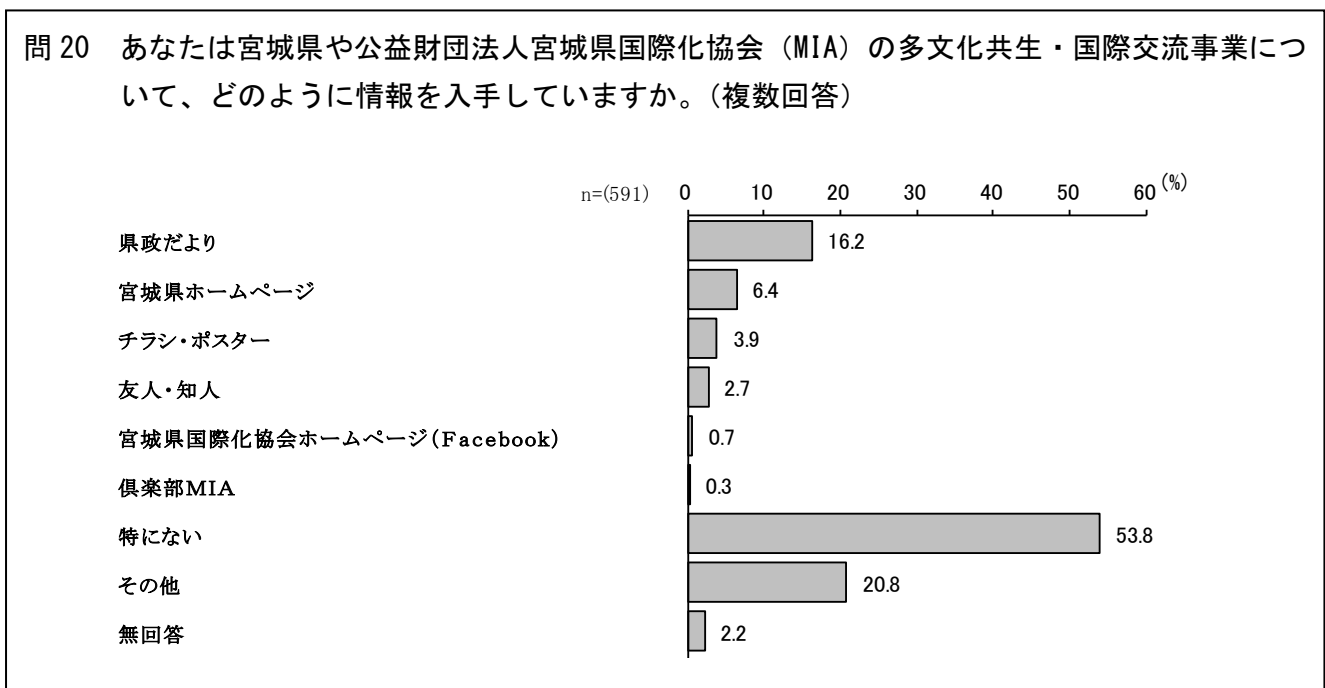
外国人に対する印象別の日本で暮らす外国人に希望することについては、いずれの印象でも「地域のルール等を知り、守ってほしい」が50%を超えており、どちらかといえば親しみを感ずらないでは71.4%となっている。どちらかといえば親しみを感ずるでは「ルールやマナー等、わからないことがあれば質問してほしい」(62.9%)、どちらかといえば親しみを感ずらないでは「日本の生活習慣、文化等を理解してほしい」(70.2%)が他印象よりも多くなっている。

(19) 「みやぎ外国人相談センター」の認知度



「みやぎ外国人相談センター」の認知度は、「知らない」が87.8%を占め、「知っている」(10.5%)を大きく上回っている。「知っていて、利用したことがある」は0.3%である。

(20) 宮城県や公益財団法人宮城県国際化協会(MIA)についての情報入手方法

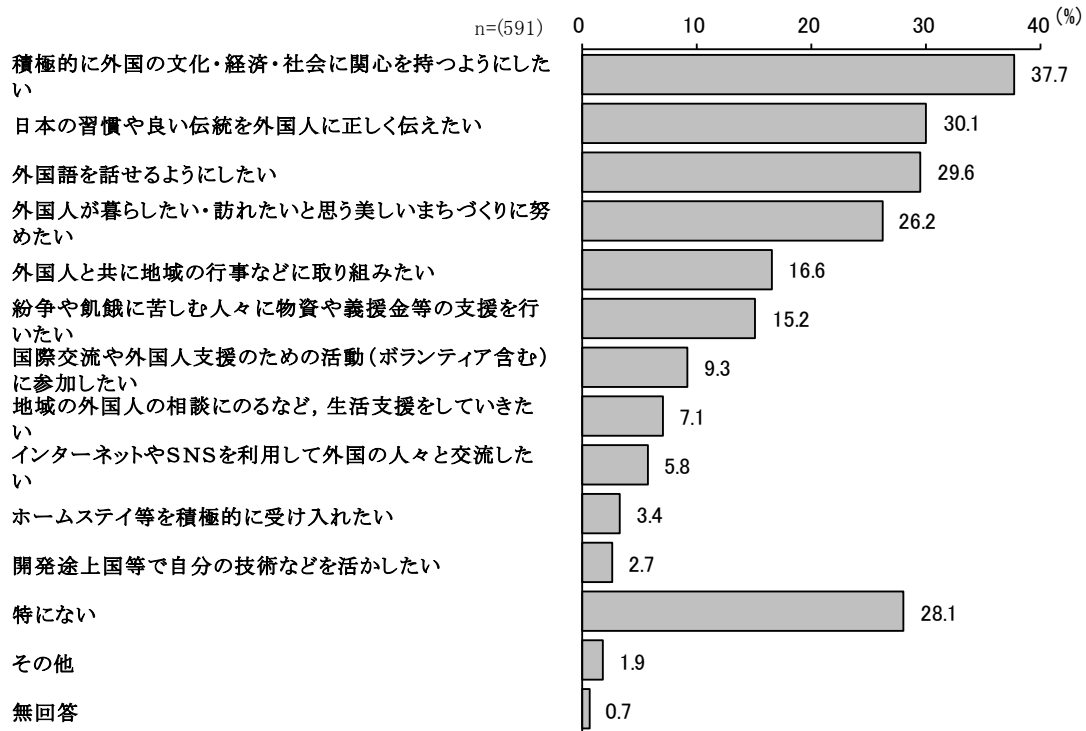


宮城県やMIAの多文化共生・国際交流事業についての情報入手方法は、「県政だより」が16.2%となっており、そのほか、「宮城県ホームページ」(6.4%)、「チラシ・ポスター」(3.9%)など、1割未満にとどまっている。

一方、「特にない」(53.8%)が半数以上を占める。

(21) 多文化共生・国際化が進むのに伴う、自身の対応

問 21 今後、多文化共生・国際化が進むのに伴い、あなた自身はどのような対応をしていきたいと思いますか。(複数回答)

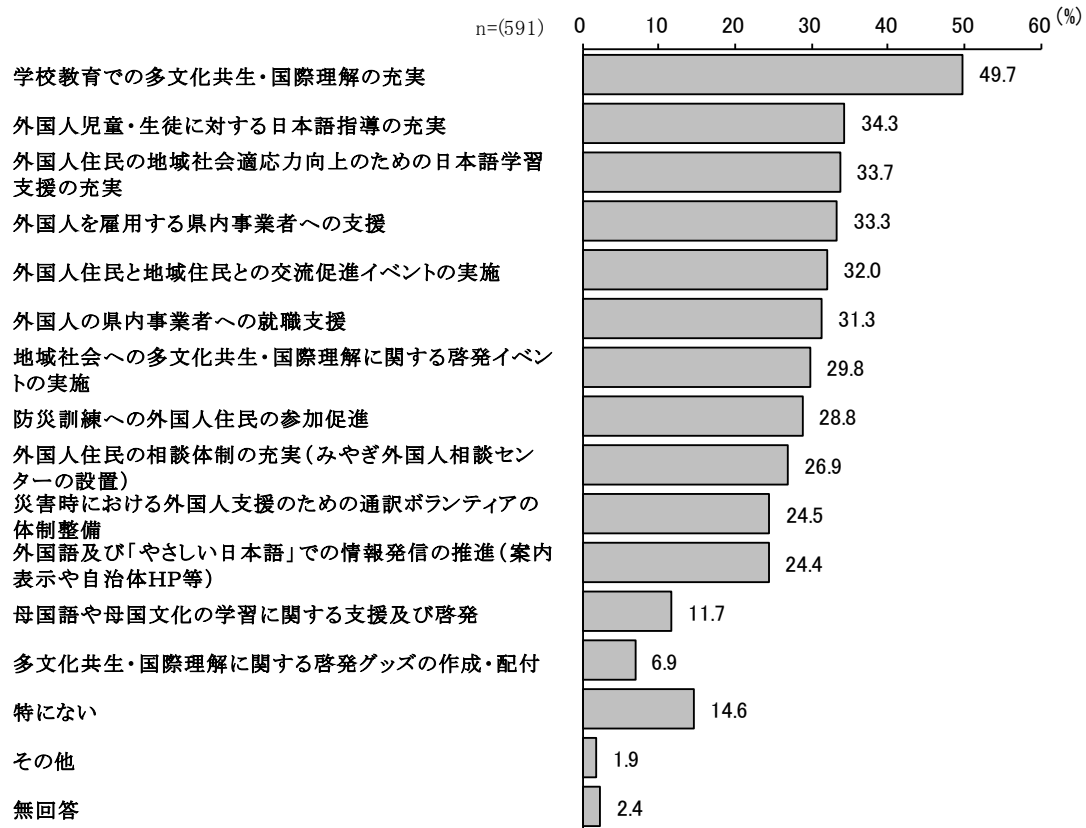


多文化共生・国際化が進むのに伴い、希望の自身の対応は、「積極的に外国の文化・経済・社会に関心を持つようにしたい」が37.7%と最も多く、以下、「日本の習慣や良い伝統を外国人に正しく伝えたい」(30.1%)、「外国語を話せるようにしたい」(29.6%)、「外国人が暮らしたい・訪れたいと思う美しいまちづくりに努めたい」(26.2%) などとなっている。

一方、「特にない」(28.1%) は約3割となっている。

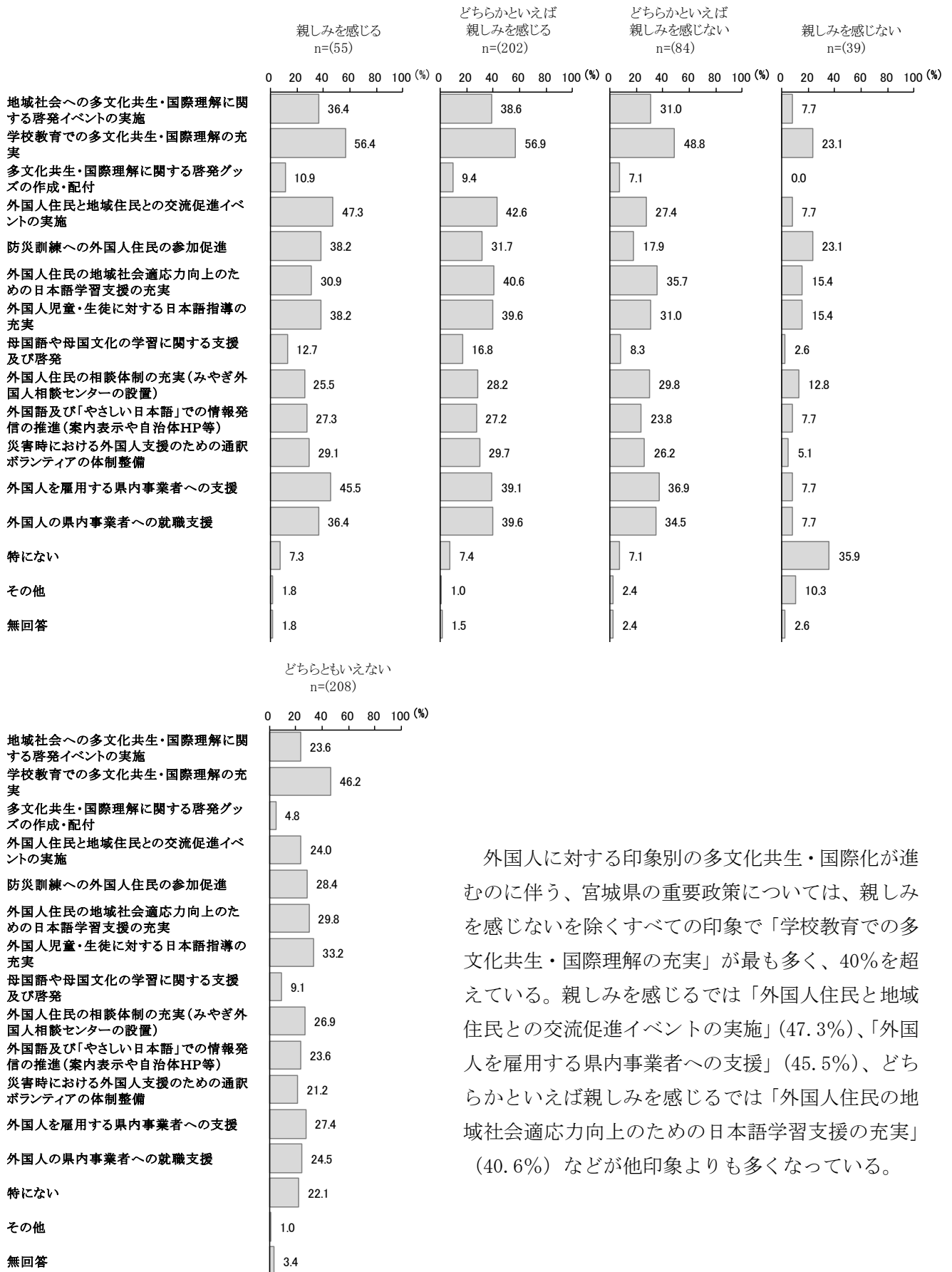
(22) 多文化共生・国際化が進むのに伴う、宮城県の重要政策

問 22 今後、多文化共生・国際化が進むのに伴い、宮城県においてどのような政策が重要と考えますか。(複数回答)



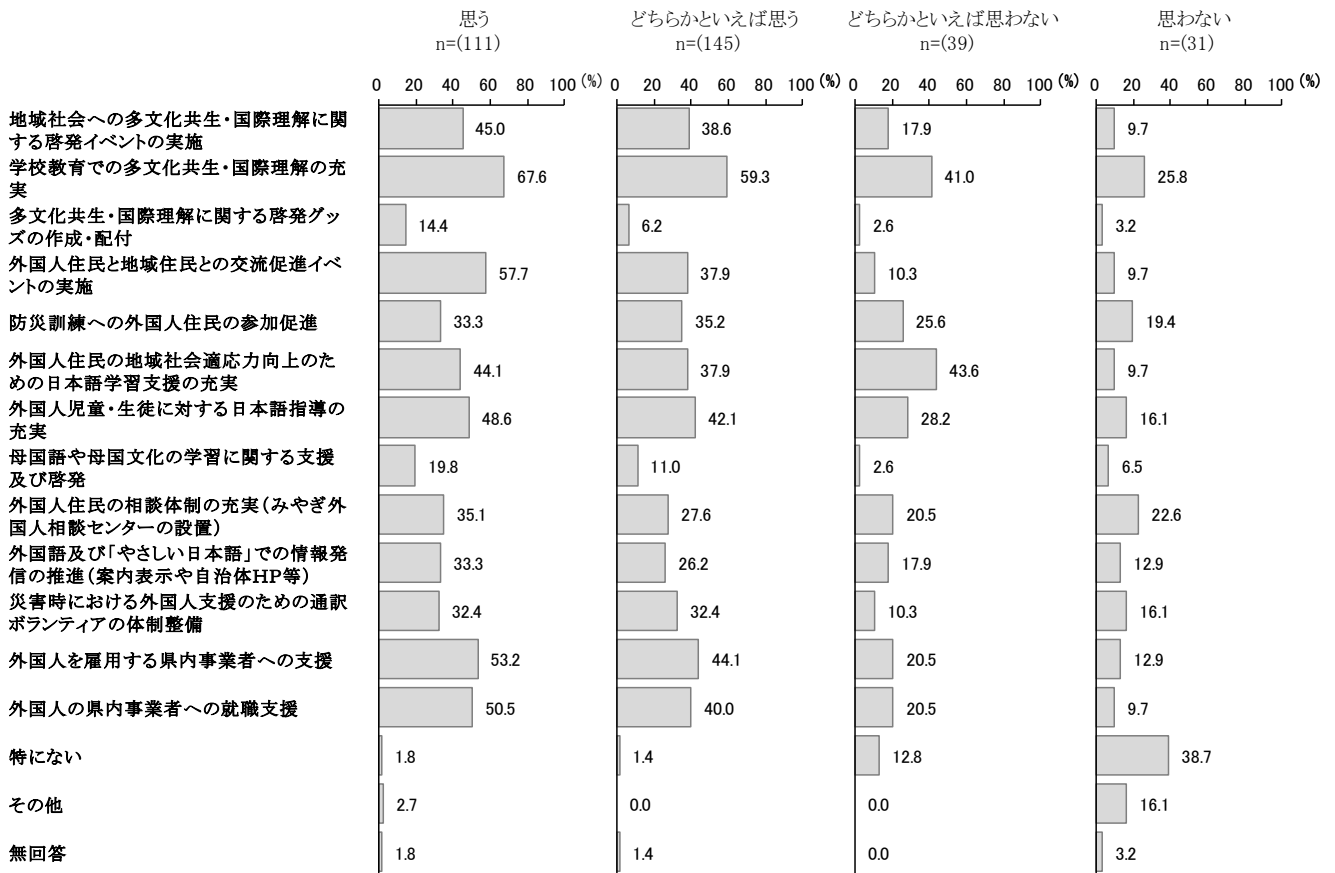
多文化共生・国際化が進むのに伴い、重要と考える宮城県の政策は、「学校教育での多文化共生・国際理解の充実」が 49.7%と最も多く、以下、「外国人児童・生徒に対する日本語指導の充実」(34.3%)、「外国人住民の地域社会適応力向上のための日本語学習支援の充実」(33.7%)、「外国人を雇用する県内事業者への支援」(33.3%)、「外国人住民と地域住民との交流促進イベントの実施」(32.0%)、「外国人の県内事業者への就職支援」(31.3%) などとなっている。

【外国人に対する印象別 多文化共生・国際化が進むのに伴う、宮城県の重要政策】

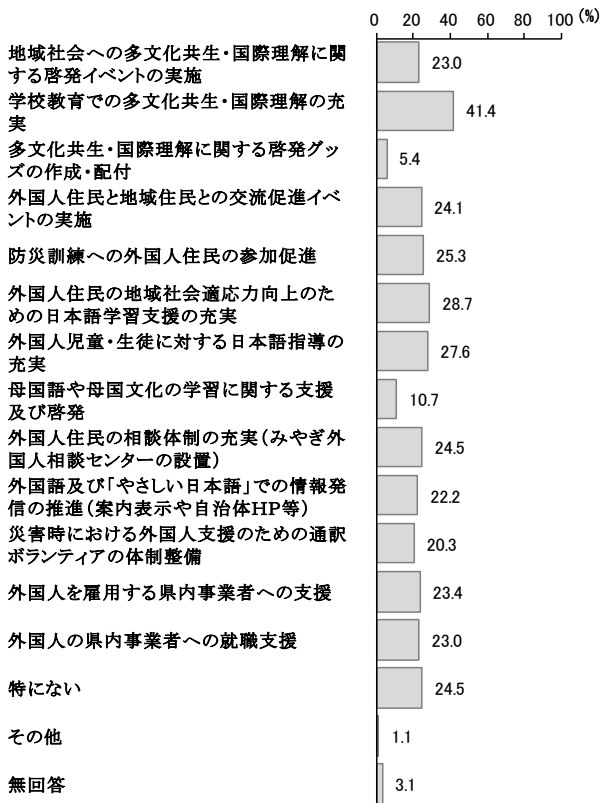


外国人に対する印象別の多文化共生・国際化が進むのに伴う、宮城県の重要政策については、親しみを感じないを除くすべての印象で「学校教育での多文化共生・国際理解の充実」が最も多く、40%を超えている。親しみを感じるでは「外国人住民と地域住民との交流促進イベントの実施」(47.3%)、「外国人を雇用する県内事業者への支援」(45.5%)、どちらかといえば親しみを感じるでは「外国人住民の地域社会適応力向上のための日本語学習支援の充実」(40.6%)などが他印象よりも多くなっている。

【宮城県の積極的な外国人の受け入れ別 多文化共生・国際化が進むのに伴う、宮城県の重要政策】



どちらともいえない (n=261)



宮城県の積極的な外国人の受け入れ別の多文化共生・国際化が進むのに伴う、宮城県の重要政策については、思うでは「学校教育での多文化共生・国際理解の充実」(67.6%)、「外国人住民と地域住民との交流促進イベントの実施」(57.7%)、「外国人を雇用する県内事業者への支援」(53.2%)などが他の受け入れよりも多くなっている。

【参考資料】

1. 自由意見一覧

問13 外国人とどのようにコミュニケーションをとっているか

問3 年齢	問13 外国人とどのようにコミュニケーションをとっているか 8.その他
30歳代	必要時スマホ
60歳代	あいさつだけ
60歳代	かたこと英単語
20歳代	英語、中国語以外の時は、スマホで単語を調べてその画面をみせることもあります
60歳代	子供が、仲介
60歳代	見ないことにする
60歳代	英単語を書いて見せる
40歳代	イラストを書く
30歳代	仕事のときは通訳を介して。
60歳代	相手の方が日本語上手
60歳代	仕事上では、通訳の人を通しての会話。
60歳代	通訳の人を間に入れた

問14 地域の外国人との間のトラブルその他

問3 年齢	問14 地域の外国人との間のトラブル 12.その他
50歳代	時間ルーズ
50歳代	たいどがでかい。
40歳代	香水の香りが強すぎて具合が悪くなったことがある。
30歳代	自分は無いが、知人は隣人との騒音トラブルに困っていた

問16 積極的に外国人を県は受け入れるべきだと思うか

問3 年齢	問16 積極的に外国人を 県は受け入れるべ きだと思うか	問16 理由
60歳代	思う	多文化交流が必要
60歳代	思う	他文化と交流して、見聞を広めたい
70歳代	思う	国際交流を深めたほうが良いと思う
30歳代	思う	子どもが海外をみじかに感じてほしい
70歳代	思う	国際化した時代で当然のことです。
80歳以上	思う	世界中の人と仲良くなれば戦争などありえない
70歳代	思う	外国人と、仲良くしたい
30歳代	思う	グローバルであることはオープンマインドで良いと思うから
30歳代	思う	人口減なので
30歳代	思う	受け入れるべき、という強い言い方では、思っていないが、県内に住みたい、働きたいと思っている方がいるならば、快く受け入れてもいいのではないかなと思う。異文化交流にもなり、子どもの未来、将来のためにもお互いに良い環境になるのではないかなと思う
40歳代	思う	他の文化や価値観などを知ることができる。
40歳代	思う	地域の活性化にもつながるから。
50歳代	思う	国際社会を広める為に
70歳代	思う	草の根交流となるから
60歳代	思う	労働力確保
50歳代	思う	人口が減少しているので外国人を受け入れた方がいい。
40歳代	思う	いろんな意味で幅が広がる
70歳代	思う	外国人という名称がおかしい→共生者であるはず
50歳代	思う	人口減少
70歳代	思う	少子化で、外国人の方に何かとお世話にならないと、生活していけなくなる。子どもたちの為にもいろんな国の人と仲良く生きていってほしいから。
70歳代	思う	人口減少の歯止めが効かない状況では！
60歳代	思う	少子高齢化
60歳代	思う	仕事を通じて地域の貢献をしてもらいたい。
50歳代	思う	日本人だけでは立ちいかない産業分野あり、介護とか
60歳代	思う	人手不足により。
50歳代	思う	宮城県の活性化のため
30歳代	思う	働き手の確保

問16 積極的に外国人を県は受け入れるべきだと思うか

問3 年齢	問16 積極的に外国人を 県は受け入れるべ きだと思うか	問16 理由
20歳代	思う	色々な文化を知るきっかけになるから。
60歳代	思う	外国人と思わず同じ人間同志だと思えばいいのでは。
60歳代	思う	宮城県で生活したいという方は心よく受け入れたい
60歳代	思う	日本の技術を伝える
40歳代	思う	労働者として頑張ってもらいたい。県の税収の向上、経済の発展の参画者の一員として受け入れ推進する 必要ありと思えるから
60歳代	思う	いろいろな国の文化を知り、刺激をもらって国際交流を深め平和を守りたい
70歳代	思う	特に問題ない
40歳代	思う	異文化を知る事が出来るきっかけになる
70歳代	思う	少子化高齢による人口減少
60歳代	思う	就労
60歳代	思う	国際都市として。
80歳以上	思う	世界的な課題が多くなっている。
70歳代	思う	どの年代でも良い影響があると思う。
60歳代	思う	外国人と会話したい
70歳代	思う	労働力と外国人の知恵必要。
30歳代	思う	色々な文化、考え方などを知るいい機会になると思うから。自分の子どもたちにもいろいろな人がい ることを知ってほしい。
80歳以上	思う	仲よく親しく付き合った方が良い
60歳代	思う	人出不足だから
60歳代	思う	留学生の増
60歳代	思う	経済、文化、スポーツ等より社会全体が刺激し合い活動的になってほしい。
70歳代	思う	たがいに助け合い支えあって生きてゆくべき、と思います。
30歳代	思う	人材不足なので
60歳代	思う	日本にきたい外国人は沢山います。交流すればお互いいいことに発展すると思います。考え方、生き 方、経済向上全て良いと思う
70歳代	思う	県民数が減少しているから
50歳代	思う	宮城県の良さ、人の良さを広めたい。
60歳代	思う	県の利益につながるから
30歳代	思う	文化交流などで自分の視野が広がると思う。
50歳代	思う	視野を広げるため

問16 積極的に外国人を県は受け入れるべきだと思うか

問3 年齢	問16 積極的に外国人を 県は受け入れるべ きだと思うか	問16 理由
30歳代	思う	外国からの技術の受け入れ 海外から見た日本を知る 英語の必要性を上げて英語習得度向上
40歳代	思う	中小企業人手不足
30歳代	思う	労働力の確保のため
60歳代	思う	東北の中心となる宮城県なので閉鎖ではなくて、明るい未来のために。(子供達・孫達のために)
20歳代	思う	理由はない
60歳代	思う	他国の文化生活知りたい。
40歳代	思う	受け入れない理由がない、時代
40歳代	思う	人手不足がどの会社も多いから
30歳代	思う	仕事のため
30歳代	思う	日本の高盛化、労働人口減でやむなし
50歳代	思う	様々な場面において、価値観や文化の違いについて学ぶ機会が必要だと思うから
70歳代	思う	世界全てグローバル化です。
20歳未満	思う	人種の多様性は重要だと思うから。地域に外国人がいて、地域内での交流があれば、小さな子どもたちが大人になった時に人種差別のない社会を作っていこうという意識を持ちやすいと思うから。
40歳代	思う	ワールドワイドな企業では、外国籍の方々との協業体制構築は既に当たりまえとなっている。そのような状況の中で、宮城県が外国人を受け入れないという回答は、経済活動の低下を招くことを意味する。
30歳代	思う	色々な考え方に出会えるから
40歳代	思う	外国の文化を知りたい
30歳代	思う	東北は異文化を取り入れたり、外部の交流が少ない保守的なイメージが強いので、県民性にもそれが根強く出ていると思います。色々なカルチャーを取り入れ、価値観を多様化させることで発展すると思っています。
40歳代	思う	もうそうになって当然。
40歳代	思う	様々な国籍の方と触れ合うことで、視点がかわったり、行動に変化がでて新しいことが創造できると思うから
50歳代	思う	来年から弊社に外国人研修生が来日する予定
50歳代	思う	1 多様性を受け入れる事は、人間として大切な事だと思っているから。 2 日本の人口減少に歯止めがかからないのであれば、外国の方を受け入れざるを得ない(労働力としてだけではなく)と思っているから。
30歳代	思う	国籍問わず皆が平和に暮らせればそれでいい
60歳代	思う	積極的にグローバル化を進め、多様性のある日本になれば良いと考えます。

問16 積極的に外国人を県は受け入れるべきだと思うか

問3 年齢	問16 積極的に外国人を 県は受け入れるべ きだと思うか	問16 理由
30歳代	思う	子供達に外国の方との交流をしてほしい。身近にいることで語学、文化の興味を持つとともに幅広い交友を築いてほしい。
50歳代	思う	宮城県はまだ外国人が少ないと思う。
20歳代	思う	これから多様化が進む中で多くの人とコミュニケーションが重要になっていくので広い視野で日々変化していく世間や一個人の人生を豊かにしていくがこれから大事になっていくと思ったから
30歳代	思う	異文化の方との交流を通して色々なことを学ぶことができるから
20歳代	思う	日本には労働者が今後減っていくため、移民が必要と感じている
40歳代	思う	今の時代普通と思う
40歳代	思う	異文化に触れることや、価値観の違いを知るなど学びが多くあると感じるため
50歳代	思う	外国人ともっと身近で交流したい
20歳代	思う	宮城県に外国人が増え、コミュニケーションを図ることが出来れば、自身の語学力を高めたり視野を広げられると思うから。
50歳代	思う	従業員として雇用
20歳代	思う	宮城県は外国人にとっては有名ではないので、外国人の受け入れを増やし、将来的に外国人観光客、または経済を支えてもらう外国人労働者を誘致できそう。
30歳代	思う	人口減少が進む中でも国際社会から取り残されないようにするため、海外の優れた文化や外国人の能力を取り入れていくことが重要と考えているから。
50歳代	思う	就業者として受入れすべき
20歳代	思う	人口減少
70歳代	どちらかといえば 思う	人材不足の職場などで、必要
60歳代	どちらかといえば 思う	同じ人間なので仲良く協力して生活したい。
40歳代	どちらかといえば 思う	他の国の事を知りたいから
40歳代	どちらかといえば 思う	人口がふえるから働く人がふえるから
70歳代	どちらかといえば 思う	業種により人手不足と思う。
60歳代	どちらかといえば 思う	グローバルな考えを持つ子どもが増えるといいなと思う。
20歳代	どちらかといえば 思う	多様な考えを取り入れられるから
70歳代	どちらかといえば 思う	多文化を知りたい。
50歳代	どちらかといえば 思う	子供の教育、成長を考えると、外国人の子女と小学校で一緒に過ごすことは良い。
40歳代	どちらかといえば 思う	色々な人がいる事で豊かになるから
60歳代	どちらかといえば 思う	語学が出来る

問16 積極的に外国人を県は受け入れるべきだと思うか

問3 年齢	問16 積極的に外国人を 県は受け入れるべ きだと思うか	問16 理由
60歳代	どちらかといえば 思う	戦争等の争い事がなくなるきっかけの1つになってほしい。
40歳代	どちらかといえば 思う	外国人とのふれあいも大事
60歳代	どちらかといえば 思う	国際化の土壌づくりが必要
20歳代	どちらかといえば 思う	いろいろ考え方や感じを感じお互いに成長できると思うから
60歳代	どちらかといえば 思う	活性化につながる。
40歳代	どちらかといえば 思う	人口も増えるし、文化交流もできる
60歳代	どちらかといえば 思う	労働者の減少
70歳代	どちらかといえば 思う	日本の人口減を考えて
20歳代	どちらかといえば 思う	他国の文化を知りたい
20歳代	どちらかといえば 思う	グローバル化の推進
50歳代	どちらかといえば 思う	日本人だけでは仕事が間に合わない
60歳代	どちらかといえば 思う	これから外国人とのつきあいなしにこの国はやっていけないので
50歳代	どちらかといえば 思う	働手として
50歳代	どちらかといえば 思う	日本文科に理解のある方々はどんどん受け入れるべきと思うが、そうでない人もいる。
60歳代	どちらかといえば 思う	若い労働力確保の為
70歳代	どちらかといえば 思う	人材確保
70歳代	どちらかといえば 思う	外国人と交流がしたい
50歳代	どちらかといえば 思う	他様な文化や人種を理解できるから
60歳代	どちらかといえば 思う	日本を良く理解してもらおう
60歳代	どちらかといえば 思う	労働力不足（介護）
60歳代	どちらかといえば 思う	今まで勤めた会社では、グローバル化に伴い色々な国の人が、同じフロアーに居る様になった。
50歳代	どちらかといえば 思う	日本をもっと良くするため
70歳代	どちらかといえば 思う	よく人で不足とっているので介護等仕事をおぼえてもらい、日本人と仲よく協力してやって行ってほしいから
40歳代	どちらかといえば 思う	外国人雇用も必要だと思うから
60歳代	どちらかといえば 思う	広い視野を持ちたい
40歳代	どちらかといえば 思う	文化の交流ができる
50歳代	どちらかといえば 思う	都心ほどウェルカム感は無いけど、少しでも、気持ちだけでも持って欲しい（逆の立場だったら…と 考えてほしい）
60歳代	どちらかといえば 思う	同じ人間だから

問16 積極的に外国人を県は受け入れるべきだと思うか

問3 年齢	問16 積極的に外国人を 県は受け入れるべ きだと思うか	問16 理由
60歳代	どちらかといえば 思う	宮城県は外国人が少ないと思うから
30歳代	どちらかといえば 思う	雇用している人がいて楽しそうにしているから
40歳代	どちらかといえば 思う	鎖国の時代ではないし志を持って来仙してくれた方々を温かく迎え応援してあげたいと思う
50歳代	どちらかといえば 思う	介護など今、人材が不足しているから。
20歳代	どちらかといえば 思う	東北6県の中で先んじてリードしていくべきだと思うから。
70歳代	どちらかといえば 思う	将来的に人口の減少すると思うし、身近に外国人がいると子供達も小さい時から外国人に慣れ特別な事とは思わず外国人に寛容になれると思うから
80歳以上	どちらかといえば 思う	少子化のため。
70歳代	どちらかといえば 思う	地域事業一諸に取り組みたい
20歳代	どちらかといえば 思う	お互いの文化を理解したり、日本の人達もやさしく接する事で日本をもっと理解してもらえたら…と思う
70歳代	どちらかといえば 思う	国際的な都市になる
70歳代	どちらかといえば 思う	就労の機会を与えてもよいと思う
60歳代	どちらかといえば 思う	時代の流れで。
30歳代	どちらかといえば 思う	多様な考え方を持つ人、文化に触れる事が地域の活性化に繋がると思うから。
60歳代	どちらかといえば 思う	建設関係の人材不足の為の採用
60歳代	どちらかといえば 思う	学生の街でもある仙台。文化都市、文化交流をもっとするべきだと思う。
30歳代	どちらかといえば 思う	英語の必要性が高まっているので、子どもたちが外国人と積極的にコミュニケーションできると良いと思うから。
50歳代	どちらかといえば 思う	娘の会社で定期的に外国からの研修生を受け入れているから。
60歳代	どちらかといえば 思う	時代の流れ。
	どちらかといえば 思う	偏見をなくす為
30歳代	どちらかといえば 思う	人口減の対策の一つとなること、また多様性の社会を形成できると思う為
60歳代	どちらかといえば 思う	少子化等の解決方法として有効と思います。
70歳代	どちらかといえば 思う	優秀な大学があるのだから留学生をもっと迎えてもいいと思う
50歳代	どちらかといえば 思う	子供達にも、もっと外国を知ってほしい。
80歳以上	どちらかといえば 思う	労働力として必要
30歳代	どちらかといえば 思う	コロナのため
60歳代	どちらかといえば 思う	自分も子どもも将来的に視野を広げたい
70歳代	どちらかといえば 思う	仙台で出会う方は皆紳士的で挨拶もできる
60歳代	どちらかといえば 思う	労働力不足

問16 積極的に外国人を県は受け入れるべきだと思うか

問3 年齢	問16 積極的に外国人を 県は受け入れるべ きだと思うか	問16 理由
60歳代	どちらかといえば 思う	たくさんの企業が外国人を雇用しているから
50歳代	どちらかといえば 思う	外国の方も多くの税金を支払っている方がいます。周りの方もその理解を深め豊かな社会をつくって いきたいと思います。
60歳代	どちらかといえば 思う	日本人だけでもむずかしい
20歳未満	どちらかといえば 思う	色々な人と関わることはいい経験になるから。また自身の知見も広がっていくと思うから。さらに、 外国人への悪い偏見なども、実際に会うことで払拭できるかもしれないから。
30歳代	どちらかといえば 思う	外国人との交流はこれからもっと増えていくと感じます。単純な人口増加の恩恵だけでなく新たな視 点からの学びや取り組みは必然になっていくと考えるからです。
40歳代	どちらかといえば 思う	拒む理由がない
20歳未満	どちらかといえば 思う	その外国人が自分の意思でそこに行きたいと考えているのなら特に止める必要はないと思うから
30歳代	どちらかといえば 思う	企業や地域の活性化を考えれば受け入れはしていくべきだと思う。
40歳代	どちらかといえば 思う	異文化交流ができて生活が豊かになるから。
40歳代	どちらかといえば 思う	グローバル社会で外国人との付き合いは必要だから
50歳代	どちらかといえば 思う	地域に外国の方がいて当たり前になると良いと思う。いろいろな文化を知ることができ、文化を知る ことで外国のかたを知ることになると思う。お互いを知ることのできるものがたくさんあると考える。
50歳代	どちらかといえば 思う	交流したい
30歳代	どちらかといえば 思う	外国の事を知る機会に繋がって良いと思う。反面では、文化の違いでトラブルにならないか懸念があ る。 マナー講習などを行って日本に馴染んでもらえると嬉しい
30歳代	どちらかといえば 思う	東北大学のような先端科学を研究する大学があるので世界中から優秀な学生に集まってもらえるよう 行政もさらなる支援をするべきである。一方、安い労働力として外国人を招くことは治安面から不安 なため反対である。
50歳代	どちらかといえば 思う	日本人は他国の人との交流を持ちたがらない 若い人は外国に興味を持ち世界に進出して日本が世界から取り残されないようにしてほしい
40歳代	どちらかといえば 思う	次世代を担う子どもたちに異文化を知ってもらい、学ぶ機会が増えることで都市部に暮らす子どもた ちに負けない語学力や感性を育める機会創出につながる可能性が高くなる。
40歳代	どちらかといえば 思う	せっかく日本きたのだから
50歳代	どちらかといえば 思う	学ぶと言う目的や母国に技術を持ち帰ると言う目的が有るなら良い事だと思うから。
30歳代	どちらかといえば 思う	外国の方との交流を通してお互いの文化を知れるのは良いことだと思うから。
40歳代	どちらかといえば 思う	外国の方々が来てもらえる事で国際化が進む
30歳代	どちらかといえば 思う	外国人は今の日本に必要なと思うし、あたたかく迎えたいと思う。 ただコロナのことや文化の違いで、何となく接する難しさを感じる
20歳代	どちらかといえば 思う	外国の方の価値観や文化について学びがあり、互いに刺激になると考えるため。

問16 積極的に外国人を県は受け入れるべきだと思うか

問3 年齢	問16 積極的に外国人を 県は受け入れるべ きだと思うか	問16 理由
60歳代	どちらかといえば 思う	労働力の確保。人口の安定。
50歳代	どちらかといえば 思う	国際交流が出来る
30歳代	どちらかといえば 思う	人口が減る中で外国人の受け入れが必要かだから
40歳代	どちらかといえば 思う	国際社会になる上で、外国の人と関わり、さまざまな文化と触れ合う機会が必要だと思うから。
60歳代	どちらかといえば 思う	いろんな文化や価値観を認める風土を作る必要がある。その一方で、治安が悪くならないか不安もある。
30歳代	どちらかといえば 思う	宮城県を知ってもらえる機会が増えると思う。活性化すると思う。
50歳代	どちらかといえば 思う	労働力の確保や国際交流のため
30歳代	どちらかといえば 思う	異文化を知って交流する方が価値観が広がるから
40歳代	どちらかといえば 思う	田舎は若い人がいないので、人が住んでくれたら活性化するのは。 またせっかく子供達が英語を学んでいるので、生活の中で使える場面が増えるといいかなと思う。
30歳代	どちらかといえば 思う	国籍問わずに付き合っていきたいから。
30歳代	どちらかといえば 思う	いろいろな国の人たちとの交流で、お互いの国の理解を深められたらいいと思う。 子どもたちの世代にも、多文化共生を身近に感じて欲しい。
40歳代	どちらかといえば 思う	治安面では不安もあるものの、東京からもアクセスが良く東北の主要都市であることから国内外の多様な文化を受け入れて順応していくことで地域の発展にもつながると考えられるため。
40歳代	どちらかといえば 思う	いろんな国の人がいれば楽しそう。
50歳代	どちらかといえば 思う	時代の流れがそうなっていると思うし、宮城は今よりももう少し外国の方々の受け入れを上げていったほうが良いのかなと思う
30歳代	どちらかといえば 思う	受け入れる側の問題など、対策すべき点がある。ただし、世の中、人手不足も大きな問題であるため、外国人の活用は必要不可欠だと感じている。
30歳代	どちらかといえば 思う	外国人の方が日本で働く場の一つとして宮城県をえらんでくれたら嬉しい。交流の機会がないからあったら嬉しい
40歳代	どちらかといえば 思う	人口が少なくなっているため
30歳代	どちらかといえば 思う	活性のため
30歳代	どちらかといえば 思う	外国人が増えるとうどうなるか心配だが、ある程度増えるのは問題ないと思う。
50歳代	どちらかといえば 思う	日本で留学や就労を望んで来ているのだから、語学が出来れば日常会話を通じて、生活文化の違い等、交流を図りたいと思っています。
30歳代	どちらかといえば 思う	労働力不足のため
20歳代	どちらかといえば 思う	私自身、職場(介護施設)でよく話しかけてもらう。 入居者様にとってもよく接し、職員及び入居者様に親しまれている。
30歳代	どちらかといえば 思う	子ども達と交流してほしい

問16 積極的に外国人を県は受け入れるべきだと思うか

問3 年齢	問16 積極的に外国人を 県は受け入れるべ きだと思うか	問16 理由
40歳代	どちらかといえば 思う	日本の文化やそれぞれの地域に親しみを持ってほしいから
30歳代	どちらかといえば 思う	異文化を知るため
20歳代	どちらかといえば 思う	宮城県、特に仙台市は多文化共生のロールモデルになれると思うから
60歳代	どちらかといえば 思わない	犯罪増加の懸念あり
50歳代	どちらかといえば 思わない	今でも多いと思う
60歳代	どちらかといえば 思わない	文化・慣習のちがいになじめない気がする。
60歳代	どちらかといえば 思わない	生活、宗教的な面でのトラブルが予想される
40歳代	どちらかといえば 思わない	就労ビザがあるとはいえ治安の悪化につながる恐れがある
60歳代	どちらかといえば 思わない	都市部ならまだしも田舎では難しいと思う
60歳代	どちらかといえば 思わない	国／人種による
50歳代	どちらかといえば 思わない	言葉、文化など分らない事が多すぎて不安。
40歳代	どちらかといえば 思わない	生活保護が無駄に支給されているから。トラブルや犯罪の原因になるから
40歳代	どちらかといえば 思わない	そもそもの文化が違うので、マナーが悪い。治安も悪くなりそう
70歳代	どちらかといえば 思わない	受け入れ体制の整備を十分にすべき。
60歳代	どちらかといえば 思わない	マナーをきちんと身につけていない人は、受け入れにくい、こわいです。
40歳代	どちらかといえば 思わない	税金が掛かるからこちらから積極的にしなくても興味のある外国人が来る程度で良いと思う。
70歳代	どちらかといえば 思わない	煩しい
20歳代	どちらかといえば 思わない	治安が悪化しそうだから
60歳代	どちらかといえば 思わない	治安が心配
70歳代	どちらかといえば 思わない	身近にいない為こわい
20歳代	どちらかといえば 思わない	言語の壁、習慣・ルール等
60歳代	どちらかといえば 思わない	交通ルールを守らない人が多い。大声で会話。いつも大人数でいる
30歳代	どちらかといえば 思わない	受け入れることでその分支出が増えると思うので、積極的な働きかけはしなくていいと思いました。
50歳代	どちらかといえば 思わない	全ての人が善人とは限らないから
40歳代	どちらかといえば 思わない	慣習が違うため、トラブルも起こり得るのではないかと心配があるから。
30歳代	どちらかといえば 思わない	文化の違いが受け入れられない
30歳代	どちらかといえば 思わない	日本に税金を収めていない場合、日本の税金で外国人を養うべきでは無いから(生活保護や医療費など)
40歳代	どちらかといえば 思わない	身近に外国人がいないので、接し方が分からないから

問16 積極的に外国人を県は受け入れるべきだと思うか

問3 年齢	問16 積極的に外国人を 県は受け入れるべ きだと思うか	問16 理由
40歳代	どちらかといえば 思わない	外国人とのコミュニケーションに自信がないので、物怖じしてしまいます
40歳代	どちらかといえば 思わない	治安
40歳代	どちらかといえば 思わない	結果として増える事を否定はしないが、積極的に優遇して受け入れる事には好意的になれない。将来的に地元に残って力になってくれる人材としては疑問がある
20歳代	思わない	県民のことを第1に考えるべき。
40歳代	思わない	治安が悪くなったら怖い
50歳代	思わない	日本の文化を敬う人とはつきあいたいが、自国のやり方を日本でも押し通す人が多いから
50歳代	思わない	積極的な必要ない
30歳代	思わない	めんどくさいから
50歳代	思わない	流行病がこわい
30歳代	思わない	日本人に雇用の場を。
40歳代	思わない	良いイメージがない
40歳代	思わない	治安が悪くなる
40歳代	思わない	日本として受け入れるべきではない
40歳代	思わない	受け入れるメリットよりもデメリットが多い。
40歳代	思わない	治安が悪くなりそうで怖い。
40歳代	思わない	日本は日本の事を最優先にすべき。 ここがクリアではないのになぜ、外国人を流入させようとするのか。
30歳代	思わない	不安を感じるため
40歳代	思わない	積極的に受け入れるのが、労働力のためと思われるから。
40歳代	思わない	日本語も話せず日本のルールも理解していないような外国人がコミュニティを作ってよくわからない活動をしている印象があるため。
30歳代	思わない	外国人の犯罪や生活保護問題など、外国人にあまり良いイメージを持たないから

問17 外国人と共生するために、日本人に必要なこと

問3 年齢	問17 外国人と共生するために、日本人に必要なこと 16.その他
50歳代	苦手意識を持たない
50歳代	日本の文化、風習についてしっかり分かるよう発信する
80歳以上	いない
40歳代	外国人向けに宮城の食べ物を食べてもらうイベントなどをする
60歳代	外国人にしっかりルール、マナーを教える必要が一番大事だと思います。
60歳代	ふつうにつきあえばいいとおもう。
60歳代	外国人が生活しやすい環境を、仙台市、宮城県が整えていくべきことが多く必要だと思う
30歳代	日本人が特別なことをする必要はない。人と人どうし対等に接すればいいだけ。理解を深めるのは日本人にも外国人にも必要。外国人を特別扱いすることには違和感がある。
60歳代	日本の習慣等を理解してもらう場を作ってほしい
30歳代	外国人との交流が盛んな国の取り組みを学び、日本流に活用する
30歳代	日本人が外国に住めば分かると思う

問18 外国人が日本人と共生するために、外国人に希望すること

問3 年齢	問18 外国人が日本人と共生するために、外国人に希望すること 9.その他
70歳代	人として信頼しあって生活したい。
30歳代	マスクをするなど、日本の感染対策をしっかり行ってほしい。
80歳以上	いない
60歳代	日本に骨を埋めるつもりで
60歳代	おたがいをみとめればいいんじゃない
20歳代	環境を汚さないで欲しい。

問21 多文化共生・国際化に伴いどのような対応をしていきたいか

問3 年齢	問21 多文化共生・国際化に伴い、どのような対応をしていきたいか 13.その他
60歳代	娘の知人（外国人）と親交を深めたい。
70歳代	20才若かったら楽しく参加し協力したかった。
50歳代	わからない
60歳代	治安的な安心感
20歳代	全部したいが、そんな時間はない
70歳代	年を取りすぎてもう参加が出来そうにもない
80歳以上	これからは若い人におまかせして、私達年寄りはずぼで見守るだけです。
30歳代	変わる気はない

問22 多文化共生・国際化に伴い宮城県でどのような対策が重要か

問3 年齢	問22 多文化共生・国際化に伴い、宮城県においてどのような政策が重要か 15.その他
50歳代	外国人の為に県の予算を使うより、宮城県民に対して使ってほしい
50歳代	サブカルチャーをもっと活用する。
30歳代	雇用する事業者よりも、就職している外国人の人権、労働環境改善
60歳代	TV報道を見ると結構やられているのでは
40歳代	基本的には不要。

問23 自由記述

問3 年齢	問23 自由記述
60歳代	入国する人の性格や人格により対応が異なる。人間的にすぐれた人材が入ってくれるよう希望する。
40歳代	外国の方だからといって、特別にイベントをしたり、行事に参加を促すのではなく、住んでいる場所ではじめて、困った事があったら相談しやすい雰囲気作りをするのがいいと思います。外国人も日本人も関係なく、同じ地域の人でありたいと思います。留学や就労などでの長期滞在ということであれば、そのような普通の日常を提供するべきだと思います。やっている方の自己満足のイベントや交流事業などは必要ないので買物の仕方、ゴミの出し方、自転車の乗り方、など普通の事を手助けするのいいと思います。
70歳代	共に生きるという姿勢で外国の人を受け入れるのが原則だと思う。日本に来たヨソ者意識や、受入れてやるという上からの姿勢は間違い。朝鮮出身やルーツの人もいるのですヨ。
40歳代	言葉をおぼえてコミュニケーションを取れるようにならないと、どういった取組みもムダだと思う。逆にコミュニケーションさえとる事ができれば別に日本人と接するのと何も変わらない。単純にそれだけが重要です。
80歳以上	私には身体的に何も出来ませんが、世界中どこの国に住んでいても、皆同じ人間です。世界中一つの気持ちで、その精神さえあれば、自ずと戦争にはならないし、一つ一つ決めなくとも自然に解決していくはずと私は思います。
30歳代	身近に外国人がおらず、また、地域においても外国人がいるという事を意識したことがありませんでした。周りで自分の分からない言語で多人数で会話されていると、少し怖いです。(分からないから怖い。)私自身、外国人を見かけると意識的に遠ざけてしまっているので、多文化共生・国際化が進み、より外国人を身近に感じる様になれば自然と受け入れられる気がします。
60歳代	これからの社会は、益々、私自身も含め、グローバルな視点を持って物事を考え、行動していく必要があると思います。
60歳代	郷に入りては郷に従えとのことわざがある。日本人が受け入れやすくするため、外国人自らの努力がもっと必要。・多文化共生と相反する違法滞在外国人の排除。・同じ人間として、「困った時に外国人が相談し、支援を受けることができるアクセスポイントの設置と充実。
60歳代	多文化共生・国際化が進むことについては、世の中の情勢からあたり前のことであり反対することはないが、日本は高齢化社会であり、特に70代以上(個人的意見)の高齢者の方への理解が今後必要と思うことから、もっともっとテレビ等のマスコミを活用した広報が必要だと思う。
70歳代	:その国のルールを守る事
70歳代	気軽に参加できるイベント等を増やして下さい。
70歳代	外国人との知り合いや対人関係がないので、どう向き合えば良いかわからない。すべては付合ってからでないと対応できない
50歳代	東北国際交流会館近隣の住民ですが、以前は、住居脇の空き地で留学生主体の屋台(祭り)が開催され、地域住民も足を運んだものです。今は、アパート群が並んでしまい、懐かしく思われる次第です。
40歳代	以前、よく自身がパチンコ店に出入りしたことがあるが、よくいる(パチンコをしている)外国人を見ると何のために出稼ぎに来ているのだろう?と、ギモンを感じる。
60歳代	あまりにも異なる文化を持つ外国人と共生するには不安感があり、心配だ。日本と同等、同様の文化を持つ外国人なら安心感が有り、共生できるかもと思う。
40歳代	自分も海外で暮したことがあり色々な人に助けられたりしたので、自分も何かできたらとは思っています。日本(宮城は特に)閉鎖的な考えの方が多いので、子供のころから国際交流をしていった方が、差別や偏見のない人が増えると思うので、子供達や学生さんから海外との交流を持つ機会が持てたら良いと思います。
40歳代	多文化共生について知らなかったため、色々情報を知っていききたいです。

問23 自由記述

問3 年齢	問23 自由記述
30歳代	私は、小さい子どもがいるので子ども向けの国際交流があるとうれしく思います。(ex)・夏休みなど長期休業中に外国の方とキャンプをする。場所は、蔵王や花山など自然の家などがよいなあと思います。・図書館の読み聞かせて外国の方が外国の本を読み聞かせてくれる。・外国のことを学べるワークショップをする。などなど…
50歳代	これでまた税金が増える事が心配で更に腹立たしい。市民・県民にこれ以上負担かけないでほしい。
60歳代	多文化共生・国際理解・交流を根づかせるためには幼少期から高校生ぐらいまで、段階的な学習、体験を積むことが重要であり、そのための教育プログラムの整備が欲しいところである。
70歳代	アンケートの中によく出てくる「外国人」という名称を使う宮城県の考えにがっかりする。外国人とは？国際政策課で定議しているのかこの辺から多文化共生のスタートラインを考え直した方が良いのではありませんか
60歳代	「多文化共生」という言葉を初めて知りました。これからは関心を持つように心掛けたいです。
50歳代	日本が好きで日本に敬意を持つ海外の方が宮城に来られるのは歓迎します。しかし日本を食い物にし、もうける為にやってくる人には来てほしくない。水源や国の施設周辺の土地を外国籍の人や企業に所有させるべきではない。
70歳代	※高齢なのでボランティア的な事は私自身、残念ながら無理です。やはり未来に向けて、多文化共生は発展していくべきで、学校教育での取り組みに期待しています。外国人の方が図書館や市民センターなどに気軽に出入りできたら、市民との交流のきっかけになると思うのです。「MIA」の事なども、もっと広報活動をやっていたらと思います。
20歳代	以前勤めていた学校で、スペイン語を母語とし、英語、日本語がいっさい分からないというブラジル人の転校生が来たことがありました。30人以外の学級で担任自身もスペイン語がたんのうではない(学校内にスペイン語を話せる人がいない)という状況でなかなか学級活動がうまくいかないということがありました。そういう時にすぐ、どこか相談でき、支援していただける所が分かっていたらと思いました。私自身も、英語、中国語、日本語以外をよくしなくてはと反省しました。
40歳代	あまり外国人との関わりが無い為、まだ怖いイメージがあるので(何か事件を起こしたりしないか)お互い理解し合って、安心して交流ができる様になると良いと思っています。
70歳代	外国の方と接する機会がなかったので考えた事はありませんでした。これから少しは考えてみようとは思っています。
80歳以上	私はサハリンで生まれ育って来ましたが自然体で良いと思います。
70歳代	私も20年近く外国(中国)でお世話になっていた経験から何処の国の人達と一人の人間として付き合うべきと思う。
40歳代	問22はすべて重要だと思いますが、地域TVやラジオを使ってどんな外国の方がどこで活やくしてる等々もっと外国人を身近に感じられたらいいなど、話すきっかけや会うきっかけからすべてが始まるのかなと思いました。どこの国の方がどの位県内で生活しているのか知らないなと思いました。
70歳代	富県政策も重要ですが、今般の多文化共生等(ソフト分野?)のPR促進を願います。
60歳代	多国籍の外国人に、宮城県の良さを知ってもらい、末永くこの土地になじんで頂く様、官民が一体となり、取組んで頂きたいです。
60歳代	日本人と外国人が宮城県で共に生活し、協力して地域貢献が出来るようになればと思います。

問23 自由記述

問3 年齢	問23 自由記述
50歳代	周知効果の高い媒体を使って国際交流に関する情報提供を積極的に図るべきと考えます。・外国人が気軽に相談しやすい専門サイト、情報提供の窓口など県のホームページなどを充実すべきと思います。特にコロナ禍にあって医療情報の情報は不可欠。ネット時代において関係情報をプッシュ型で提供すべきと思います。・宮城県の主導的な役割に大いに期待しております！
60歳代	外国との取引、人員不足の補充等なしにはこの国はやっていけない。鎖国の時代には戻れないので。
50歳代	習慣や文化の違いを知ることで、お互いをより理解しようと思います。もっとも大事なことは、相手を知ろうとする気持ちとコミュニケーションだと思います。歴史や文化、食文化、サブカルチャー（マンガ、アニメ等）をもっと活用し、日本の魅力、宮城の魅力を行政と民間が共同で交流イベントやサービス等で理解が深まればお互いの選択肢や外国人の適応力向上の助けになると思う。
50歳代	宮城県は自然災害も多い為、在留外国人との日頃からの交流を通して災害時の対応について互いに理解を深めておくことは必要と思います。
80歳以上	日本も、外国人を受け入れて、平和について、共に仲良くくらすたら良いと思う※自分の回りには外人はいない！！
50歳代	外国人と言ってもそれぞれの国によって国民性が違うので、そこは心配です。外国人による犯罪が増えている事も心配です。
60歳代	これを機会に勉強したいと思います。
60歳代	個人的には、関心はありますが、外国の方と知りあったり、交流しあう環境ではないのが残念です。かといってそのような環境のなかへ、出向いて何かをしようという状況を積極的に作ろうと行動しているわけでもありません。ふつうの生活の中で知りあい、理解しあい、助け合える関係ができればいいなあと思います。
60歳代	海外実習生を町でみかけますが、中々交流する機会が無いので、各企業等で積極的に地域活動に参加してもらえれば、外国人との距離が近くなると思います。
40歳代	まず初めに、数年～数十年後、少子高齢化社会に置ける・労働者（日本人）人口の低下に伴い、税収下落傾向にあると判断し、補うべく、外国人の労働者、難民の受け入れ、就職先の確保が必要と判断する。職業安定所での職業訓練に参画して頂き、今後、日本人以外の就業受け入れ先が、わずかしかない為職種幅を広げ、望ましくは、日本に定住化して頂き、日本経済の発展に貢献して宮城県の発展に尽力して頂きたいと思う次第です。個人として、外国人の受け入れに、雇用に補助して頂く事で、多文化共生し、持たらず外国籍の方に、知識を伝え、又雇用者側も、受け入れた事で、グローバル化していく何かを得られるかもしれない、期待感も持っています。change. chanceする事で改革を進め、いずれにせよ、技術、知識を共有化する、そして、明るい未来を支える一員になって頂きたいと判断しています。
60歳代	日本の国…そんなに難しい国ではないと思います。私達も他県に行った時に少し違う文化だなと思う時があると思いますが、そんな程度のものだと思います。礼儀正しく、挨拶をかわし、ルールとやらがあれば守り、時々楽しくハメを外しても「ごめんなさい」と修正すれば何も問題はないと思います。受け入れる側の日本人は実は優しいのだと思いますし、偏見や差別はそんなにあるものではないと思っています。…私の感想です。
80歳以上	宮城県は外国人との交流に強力に努力すべきです！！日本で外国との交流は歴史に誇る支倉常長を派出しています。諸外国と強力に全ゆるイベントに交流接触して下さい！！観光立県を大いに活用して下さい！！
70歳代	テレビで聞いたことは、あるが外国人がいないのでわからない。
60歳代	自国を知らずして他国に目を向けない。自国の人間を大切に。
40歳代	滞在期間が長い程、その地域の特別な習慣を体験できると思うし、また、もう少し長く滞在したいと思ってもらえるような情報の提供が多ければ良い交流経験を積み重ねていけると思います。
80歳以上	年令が年令だけに、頭で考えている事と、実際に実行する事に限介があります。
70歳代	一諸に活動する事が増えれば、それなりに深まっていくと思います。

問23 自由記述

問3 年齢	問23 自由記述
50歳代	まずは挨拶を交わし互いに歩み寄る事が出来れば、少しずつでも交流がとれて、楽しくやっけて行けると思う。食文化もかなりちがうので、教えて欲しい。日本食も伝えたい。コロナが続いているうちはきびしいですけど…来年こそは終了します事を願ひましょう。
60歳代	とくべつなめでみないで、ふつうにひととしてつきあえばいいんじゃない
50歳代	日本は単一民族なので個人的には、他国の人々より日本人にがんばってほしい。いずれ、日本も人口減少により外国人を増やすと思うが、あまりにも多くなるのは心配な気もする。となりのあの国の人→自国の不満をそらす為、日本を憎ましている国があり。もし戦争になったら、ようしゃなく戦かわせるそうです。(基本的に特にナシ。)
40歳代	多文化共生、国際交流の重要性をあまり感じていない。日本(宮城県)に何らかの事情があって暮らす外国人の人との交流を深められたら良いと思うが、こちらから、税金を投入して、仕掛けなくとも良いと思う。どちらかといえば、外国に興味を持っている人を外国で学べる様支援する方にお金を使ったら良いと思う。
60歳代	住みやすい環境作り。
40歳代	電車内で、外国人の方々が大きな声で談笑しているとうるさいなと思いつつ注意の仕方がわからなくてそのまま見て見ぬ振りをしてやり過ごしてしまいます。自分の勝手な想像ですが、日本人を馬鹿にして笑っているのではないか、何か卑猥な話で盛り上がっているのではないかなど、勘繰ってしまうこともあります。相手を知らない、相手の話している言葉がわからないということが不安や恐怖を煽るのだと思います。本当は同じ人として仲良くしたいと願っています。困っていることがあるのなら力になりたいと思いますし、せっかく来日してくれた方々に日本を好きになってもらいたいと思います。もっと彼らのことを知る機会ができれば、そういうきっかけ作りになるような交流イベントを行ってほしいと思います。
80歳以上	年令的に、機会が少く、特に興味がない。・海外旅行時には、交流経験があれば楽しく交流できる。
30歳代	今回のアンケートで、多文化共生という言葉を知った。外国人と交流する機会がなかなかないので、参加しやすいイベントがあると良いと思った。
50歳代	電車等で外国の方を多く、お見かけしますが、何か浮いたようなまわりの対応を感じます。もっと、外国の方が、日本を身近に感じられる世の中になってほしいと思います。
30歳代	技能実習系のアジア人が近所に居て、あまりいいイメージがないので、外国人全体にあまり好意的ではない。受け入れ体制も必要かもしれないが、日本に来たからには日本のルール、マナーにしたがってほしいです。日本のマナーに従うのが大前提。
60歳代	多文化共生とは何の事かわからないのでくわしくおしえてほしいです!!内容がわかれば、意見も書けるはずですからー!!
60歳代	「多文化共生や国際交流について」がより身近で普通な事としてお互いがやさしく受け入れられ、定着出来る様になります様お願いします。
60歳代	相互の宗教・思想・文化の違いを理解した上での相互の関係性を築き上げる事が第一義かと思ひます。表面的な形のみつながりは国内に於いての人間関係に於いても同様です。先ずは同じ人間として何を大切に何が一番大切かを個人がしっかり認識していなければ多文化共生・国際交流までのレベルには到達出来ないのではと。現在の日本の国内的情况にては全からく根底から個人個人が再考する必要性が大と悲痛な思ひで日本の将来もきぐしております。
80歳以上	これから少子化が進んでまいりますので外国人を、積極的に受け入れていけたら良いと思ひれます。
70歳代	一人一人の意識は、生まれ育った国や地域の生活環境や宗教などによって大きく異っていると思うので、人性観や生活に関する意識を同一にすること自体が難しいと思う。せめてのこととして生活上でのマナーを近づける工夫をすることで共通の生活ルールを構築できるようにしてはどうかと思う。
70歳代	地域社会の人、行事ごとのイベントに参加してほしい

問23 自由記述

問3 年齢	問23 自由記述
70歳代	問、⑱について、あまりみかけたことがありません。もっと目につきやすいようにしてもらえれば、と思います。私が育った子供時代より現代は、世界の国々の情報を目にすることができますが、小さい頃からの、差別やへんけんをなくす、どんな人でも相手を尊重するという教育(?)が大事なのでは、と思います。一日も早く、ロシア、ウクライナの戦争など終わってほしいと願っています。
60歳代	内容がまだ広く広報されてない為理解に不十分です。
60歳代	単に安い労働力を他国からもらうのではなくウインウインの関係になるようご指導下さい。災害の多い宮城ですが世界にほこれる食材が豊富、水資源も豊か(温泉も)その強みを発揮してまずは観光客、世界から→移住、東京、大阪にはできない宮城のあったかきで交流すすめて下さい。異国の文化は幼児教育からです。30年後の長いスパンで考えていって下さい。各省が協力です。
70歳代	外国人は複数人で歩いているので話しかけづらい
70歳代	グローバルな社会の形成に向けて、多文化共生の有り方等を行政はもう少し力を入れるべきと思う。
30歳代	住民と外国人がお互いに一方的にならないように交流ができるようになってほしい。不満や偏見を持つ住民の声も無視せずに意見を聞き、両方が住みやすい環境づくりをできるだけやれるようになってほしい。
30歳代	日本はもっと国際的になっていい。
60歳代	日本がかかえる少子高齢化による労働力不足、人口の片寄り、又、イジメなどの問題引き込みり問題などの社会問題も、外文化共生により風穴となり、コミュニケーション能力の高い日本人が増えていくことで、明るい未来になるような気がしてきました。今まで、外国人について特に考えることもありませんでしたが、共生できる社会に協力していきたいと思います。
20歳代	紙は面どうなので、WEBにしてほしい。
60歳代	外国人との交流の場が地域住民にオープンになり、参加しやすいものになるよう情報を発信してほしい。シニアのボランティアなど参加できる人はいると思うが、もういっぽ(一歩)ふみ出すことができるような発信の仕方があると良い。楽しそう!行ってみたい!新しい発見があるかな?自分の勉強にもなるのでは!力になれるかな、というようなところから交流が活発になればと思う(シニアの参加を活発化させられるとよいのではと思われる)
40歳代	学校等で外国人との交流を深める。
60歳代	特定の国に偏見を持たず、外国人と意識しない対応を心がける。
80歳以上	「多文化共生とは何にか」PRが少くない。取り組が見えない
30歳代	外国人が、本や新聞など、日本語にふれる機会がたくさんあるといい。
60歳代	加美町にも、沢山の外国の方がおられますが、表向きは、あまり人種差別的な発言を聞いた事はありませんがなにせ田舎ですから。
60歳代	市営・県営住宅に住んでいる方がいますのでそのあたりからコミュニケーションしたらいいのでは?行政がどのように関係を作るか見えています。→・ルールがわからない人・言葉を知ろうとしない人・救済がある事を教えたい。メニューはたぶん沢山ある。何があるか知らないのでは?
80歳以上	どんな属性の人と一緒に生きていける街を

問23 自由記述

問3 年齢	問23 自由記述
40歳代	小・中学校のうちから、単語や英会話などを教育する必要がある。今の学習では、英語で会話は無理。難しい文章を学習するよりも、会話ができればコミュニケーションがとれないと思う。外国の方々も英語を中心に小さい頃から教育されてるようだし、日本人も英会話を身につけた方が、海外の人達もコミュニケーションを取りやすいと思う。大人になってから学ぶのでは興味がない人は一生学ばない。海外から日本に来た人達の方がとても積極的にたずねたりすると思います。
30歳代	“やさしい日本語”といったものを外国から来た方に押しつけるのではなく、外国の言葉を積極的に学べる環境をつくるのが大事だと思います。“やさしい日本語”を使えばOKという意識は外国から来た方に対して失礼です。むしろ日本でしか使えない言葉や文化よりも、日本人はもっとグローバルで使える言語や文化を学んでいく必要があると思います。
70歳代	すべて草の根交流から始まるものと思います。地域の小・中学校から住んでいる地区の子供会、町内会に案内することにより子供会、町内会としてどんな対応すればいいか検討するかと思います。そうすれば親との交流も深まり地区として関与できるのではないかと思います。
80歳以上	私個人としては外国人すべての人が悪いとは思っていませんが、北朝鮮による拉致被害者のこと、ミサイル発射、ロシアの戦争のことも含めて心が痛みます。私達夫婦は戦争の犠牲者ですので、とても心が痛みます。それ故に国際化は良いのですが少し胸がいたみます。全国民心一つに平和になってほしいと願います。世界は一つ皆友達と思えば争いはおこらないでしょう。本当は仲良くして暮らしたいものです。戦争は絶対にいけません。
70歳代	地域に定住して生活している外国人はルールもマナーも良いし、事業的、地域的、人間的にも良いし、他国の文化も聞き易い。しかし、観光かビザで来てる短期の方は優越感が否めない。短期の方と接するには勇気がいるが、市町村で宣誓書かバッチ着用で交流しやすいようにしていただけたら勇気を持って話せるし、共同事業にも誘いやすいと思われる。
50歳代	何か特別な事を行うのではなく普段何げない生活の中で外国の方に会った時の対応を優しくできたらと思っています。外国の方も同性で2・3人で行動し少しこわいなと感じる事もあります。しかし社会の中の一員であることを皆で理解し遠い国から出かせぎに来てくれている事を理解したい。またこの円安の中日本で働くことを選択してくれたことを嬉しく思うし、その方々の人生にフューチャーするような情報を発信してほしい。
60歳代	時々感じるのは（目にする）くらい公園で集まって話しているのを通りがかりで聞いて明るい場所で集まるところがあれば良いと思う。スーパーでも3-5人で買い物をしているとその売り場に行けなくなる。たぶん1人2人では不安なのかと思う。日本で生活する上で、日本人に配慮したマナーを学んでほしい。またその機会を作って上げてほしい。また交通ルールを守らない（日本人も多いが）方々が多いのでルールを学ぶ機会を与えてほしいです
40歳代	外国人を雇用する場合は、日本人と同様の待遇とすることを義務化すべき。 (もしすでに義務化されていたらごめんなさい) 事業者への定期監査も必要では。
30歳代	日本人同士でもトラブルが起こるのだから文化の違う生活圏からきた人とのトラブルが起こらないはずがない。いずれにせよコミュニケーション不足がトラブルの原因の一つであることは確かである。交流、会話、活動の機会があれば打ち解けやすくなると思う。 ただし、自分もそうだが、他者とあまり深く関わりたくない、一定の距離を置きたいと考える日本人も外国人もいると思うので強制されるべきことではない。
40歳代	日本は日本人のものである。外国人受け入れなど安易に考えるよりも出生率を上げる施策を推進すべき。多文化共生に反対する。
40歳代	外国人側もその地域、人のことを尊重、理解を深めてもらいたい
40歳代	積極的なコミュニケーションが取れるようになれば、自ずと他の文化を持つ方々とも良い関係が育めると思います。関心を持つ情報の共有などハードルの低そうな部分から行えば進歩出来るのではないのでしょうか
40歳代	老若男女が気軽に交流できる場があるといいと思います。

問23 自由記述

問3 年齢	問23 自由記述
50歳代	お金儲けや仕送り目的の訪日は犯罪や危害が生まれやすく、結果、受け入れ側の警戒心に繋がっていると思います。文化性の高い知識人の受け入れは拒否反応が低いですが、どうしても貧しい国からの労働者はお互いに問題を生む要因になっていると感じます。
30歳代	出来るなら一生涯外国の方と関わり合いになりたくない。
50歳代	今後永住したい、と言う方々や、明らかに紛争地域から来た方々は手厚くサポートすべきであるが技能実習生については受け入れる側も実習も制度を悪用しない様注意が必要だと思う。
30歳代	圧倒的に英語に対しての教育が足りないと感じています。 観光客が来ても、話せる人が少ないとコミュニケーションも生まれません。 教育面を含め、社会人が英語を学ぶ機会を増やさなければ、多文化共生への道のりは難しいと感じます。
40歳代	この事業に関してほとんど知りませんでした。もっと周知させるべきでは。問題は言葉と治安が荒れること。少しずつ、丁寧にコミュニケーションをとって受け入れてほしい。個人的には国際交流が身近になるのは大賛成です。
40歳代	外国で暮らすというのは大変な事なので、就労や留学で日本に暮らしている外国の方への支援が大切だと思います。
40歳代	外国の方と接する機会はそう多くなくて、限られたコミュニティになってしまっていると感じます。私自身が積極的に行動に移していないということもあります。 若い世代は学校教育で外国の方から授業を教わる機会があって身近に感じれる要因としていいと思います。
40歳代	国際交流に関しては、率先して行って行くべきと思います。 ただし、多文化共生については、県内に在住している外国人が、何を目的としてきているのかが重要かと思っています。 あえて、外国人が住みやすい環境づくりをすることではなく、外国人の方々へ日本の文化や慣習についての教育制度を充実させていくべきと思います。 例えば、在住する際には、いくつかのプログラムを実施するなど。
50歳代	全く知識がない私にこの様なアンケートがきてびっくりした。たまたま来年から研修生が来るのもっと知識を持ちたい
30歳代	多文化、国際交流は相互理解のために必要だと考えられます。しかし、自国の国民性が強く出すぎている国の方もおり、日本のルールやマナーを守れていない方が多数見受けられます。郷に入っては郷に従ってほしいです。 日本の法律、マナーを守ることができ、日本に税金を収めるのであれば、日本への居住、就労はもっと進んでもいいと思います。 日本の税金は、日本に税金を納めている人を優先し、日本人でも外国人でも平等にすることが大切だと考えます。
50歳代	正直馴染みが全くないので 答えようがなかった
50歳代	私の妻はタイ人ですが、漢字が読めないのではなかなか仕事に就けません。 外国人の就業をしやすくして欲しいです。
40歳代	(自分がそうなのですが) 自分くらいの世代で語学力がないと外国人を受け入れることに身構えてしまう人も多いのではと思うので、若い世代への国際交流に関する教育などを充実させて欲しいです。 あとやはり災害時の情報提供や支援を国外の方にも不利のないようにして欲しいです。
40歳代	人種国籍によっていまだに差別、偏見はある 普段外国の人と接する機会がない人はしょうがないのかと思う
30歳代	外国語が話せなければコミュニケーションをとるのも躊躇してしまうし、災害の時助ける時もうまく伝えられない。まず、英語の日常会話程度は覚えなければならないと思う。それから、地域の交流を通して地域の方と一緒に暮らしているとを良くしていければ良いと思う。

問23 自由記述

問3 年齢	問23 自由記述
40歳代	外国語と日本語覚えたい人達が集まって無料参加で会話を楽しむコミュニティがあれば参加して海外旅行に行きたいです。
30歳代	国際交流は大切な事だと感じるので、自分もスムーズな交流が出来る様にしたい。
50歳代	外国人との交流は必要
70歳代	それ以前に日本の難民受け入れや入管の人権侵害など問題があるのではないかと思います。
20歳代	こちらから交流の場を提供することも大切ですが、今あるコミュニティ同士を繋げていく活動に期待します。日本人の価値観を押し付けるような一方的なやり方ではなく、外国人主体のコミュニティと宮城県が繋がっていけば、双方にとって心地よい距離感で交流できると思います。
40歳代	外国人を特別扱いしすぎないで下さい。困っている人、という意味では、外国人日本人問わず力になってあげたいと考えます
40歳代	まず外国人を外国人という一つのくくりにするのはやめていただきたい。彼らには様々な理由や目的があって日本に在住しているのだから、少なくとも日本語や日本のルール文化について最低限の理解もない外国人と、日本人と遜色ないレベルで日本語や文化について理解している外国人は明確に区別すべき。前者については日本にいるからには日本について理解すべきだし、ある程度理解してから日本に来るべきであるし、彼らを支援するために税金を投入すべきでもない。日本に来て犯罪を犯す者や生活保護を受ける外国人がいかほどいるのか、まずその人数を減らす努力をすることを行政に望みたい。

2. アンケート調査票

（ ）市・町・村

問1 あなたが現在お住まいの市町村名を御記入ください。

問2 あなたの性別を教えてください。

1. 男 2. 女 3. 答えたくない

問3 あなたの年齢を教えてください。

1. 20歳未満 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代
5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳以上

問4 あなたの職業を教えてください。

1. 自営業 2. 会社員 3. 公務員
4. アルバイト・パート 5. 派遣社員・契約社員 6. 学生・専門学校生
7. 家事専業 8. 無職
9. その他（具体的に御記入ください： ）

問5 あなたは、「多文化共生」という言葉を知っていますか。あてはまる番号を1つ選びOをつけてください。

※多文化共生…国籍、民族等の異なる人々が、互いに文化的背景等の違いを認め、人権を尊重し、地域社会の対等な構成員として共に生きる社会

1. 言葉の意味も含めて知っている
2. 言葉の意味はわからないが、聞いたことはある
3. 知らない

問6 あなたは、「やさしい日本語」を知っていますか。あてはまる番号を1つ選びOをつけてください。

※やさしい日本語…難しい語句や表現に言い換えたり、文章は簡潔にするなど、相手に配慮したわかりやすい日本語

1. 知っていて、使っている 2. 知っている 3. 知らない

令和4年度
宮城県多文化共生アンケート調査

郵政の推進につきましては、日頃ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
このアンケートは、宮城県が、国籍や民族などの違いに関わらず、県民の皆様が安心して暮らせる多文化共生（※）の社会づくりを進めるために実施するものです。
つきましては、お忙しいところお手数をおかけしますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年11月

宮城県知事 村井 嘉浩

調査対象者（日本人住民）
宮城県内にお住まいの18歳以上の日本人の住民の方 1,500人
（住民基本台帳等から無作為に抽出させていただいております）
※外国人住民の方にも、別途アンケートを実施しております

調査回答の方法
紙（本紙）またはインターネットのどちらから1つでご回答ください。
①紙（アンケート用紙）に直接記入する
・記入の際は、差し鉛筆またはボールペンなどをご使用ください。
・記入後は同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函してください（切手は不要です）。
②WEBページで回答する
・右側にあるQRコードを読み取り、画面上で回答してください。
・アンケート用紙及び同封の返信用封筒は、お手数ですが、各自処分をお願いします。
※調査票は、令和4年11月1日時点でご記入ください。

その他
12月26日（月）までに、郵便ポストに投函またはWEB回答をお願いします。
なお、調査は無記名で行い、アンケート結果はすべて統計的に処理しますので、ご回答いただく皆様にご迷惑をおかけすることはありません。

お問い合わせ先
宮城県経済労働観光部国際政策課
電話：022-211-2972
E-mail：kokusai@pref.miyagi.jp

「多文化共生」とは…
国籍、民族等の異なる人々が、互いに文化的背景等の違いを認め、人権を尊重し、地域社会の対等な構成員として共に生きることを意味しています。

問7 あなたは、外国人（外国籍または外国にルーツを持つ人）に対して、どのような印象を持っていますか。あてはまる番号を1つ選びOをつけてください。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 親しみを感じる | 2. どちらかといえば親しみを感じる |
| 3. どちらかといえば親しみを感しない | 4. 親しみを感しない |
| 5. どちらともいえない | |

問8 あなたは、毎日生活しているなかで、外国人を見かけることがありますか。あてはまる番号を1つ選びOをつけてください。

- | | | |
|-------|-------|----------|
| 1. ある | 2. ない | 3. わからない |
|-------|-------|----------|

問9 あなたは、日本で生活する外国人が増えることについてどう思いますが。あてはまる番号を1つ選びOをつけてください。

- | | | |
|---------|-----------|----------|
| 1. 望ましい | 2. 望ましくない | 3. わからない |
|---------|-----------|----------|

問10 あなたには、外国人の友人や知人がいますか。あてはまる番号を1つ選びOをつけてください。

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|
- ⇒【1】を選んだ方は問11に、【2】を選んだ方は問12に進んでください。

問11 あなたが外国人の友人や知人と知り合ったきっかけはなんですか。あてはまる番号をすべて選びOをつけてください。

- | | |
|----------------------------------|--------------------------------|
| 1. 仕事上の付き合いから | 2. 海外旅行に行った（来た）ことから |
| 3. 留学をした（来た）ことから | 4. 国際交流事業に参加したことから |
| 5. 学校や語学教室などの教師や講師、あるいは生徒だったことから | 6. FacebookなどのSNSを通じて知り合ったことから |
| 7. 近所に住んでいることから | 8. 子どもを通じた活動を一緒にしているから |
| 9. 自分自身が外国にルーツを持っていることから | 10. その他（具体的に郵入ください） |

問12 あなたは、現在、地域の外国人とどのような付き合いをしていますか。あてはまる番号をすべて選びOをつけてください。

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. 挨拶をする | 2. 顔や名前を知っている |
| 3. 時々話をする | 4. 親しく付き合っている |
| 5. 全く言葉交わさない | 6. 地域に外国人はいない（知らない） |

問13 あなたは、外国人とどのようにコミュニケーションをとっていますか。あてはまる番号をすべて選びOをつけてください。

- | | | |
|-----------------------|---------------|------------|
| 1. 身振り手振り | 2. 日本語 | 3. やさしい日本語 |
| 4. 英語 | 5. 外国語（英語を除く） | 6. 翻訳機の利用 |
| 7. 全くコミュニケーションをとっていない | | |
| 8. その他（具体的に郵入ください） | | |

問14 あなたは、今までに、地域の外国人との間にトラブルがあったことはありますか。あてはまる番号をすべて選びOをつけてください。

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 1. コミの出し方 | 2. 家や部屋からの騒音 |
| 3. 集合住宅の共用スペースの使い方 | 4. 子どもの行動 |
| 5. 交通ルールや駐車・駐輪に関する事 | 6. ペットのマナー |
| 7. 外国人が経営する店舗の営業に関する事 | 8. 建物の増築・改築 |
| 9. 文化や慣習に関する事 | 10. 宗教に関する事 |
| 11. 特になし | |
| 12. その他（具体的に郵入ください） | |

問15 あなたは今後、地域の外国人とどのような付き合いをしていきたいですか。あてはまる番号をすべて選びOをつけてください。

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 挨拶をしたい | 2. 日常会話をしたい |
| 3. 文化やスポーツ等での交流をしたい | 4. 地域事業と一緒に取り組みたい |
| 5. 語学を教えたい、または教えてほしい | 6. あまり付き合いたくない |
| 7. わからない | |

問16 あなたは、宮城県は積極的に外国人(※)を受け入れるべきだと思いますか。あてはまる番号を1つ選びOをつけてください。

※ここでは、留学や就労等中で～長期で滞在する外国人の方を想定しています。（観光客等の短期滞在の方は含まれません。）

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. 思う | (理由を郵入ください) |
| 2. どちらかといえば思う | (理由を郵入ください) |
| 3. どちらかといえば思わない | (理由を郵入ください) |
| 4. 思わない | (理由を郵入ください) |
| 5. どちらともいえない | |

問 17 外国人と互いに理解しあって生活するために、日本人にはどのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号をすべて選びおつけてください。

- | | |
|---------------------------------------|--------------------------------|
| 1. 日ごろから、挨拶や声かけをする | 2. 地域の行事、イベント等に外国人が参加しやすい環境を作る |
| 3. 話しかけるときには、できるだけ「やさしい日本語」を使う等、工夫をする | 4. 地域のルール等を外国語で情報提供する |
| 5. 自分の持っている知識や技術を外国人に伝える | 6. 多文化共生について理解を深める |
| 7. 外国の生活習慣や文化等について理解を深める | 8. 差別意識を持たないようにする |
| 9. 外国人に日本語を教える | 10. 地域の外国人と意見交換を行う |
| 11. 困っている外国人がいたら声をかける | 12. 外国人を支援する活動に参加する |
| 13. 自分自身が外国語を習得する | 14. わからない |
| 15. 特に必要ない | 16. その他
(具体的に御記入ください) |

問 18 日本で暮らす外国人が日本人と互いに理解しあって生活するために、外国人にどのようなことを希望しますか。あてはまる番号をすべて選びおつけてください。

- | |
|--------------------------------|
| 1. 地域の人と交流したり、行事やイベント等に参加してほしい |
| 2. 地域のルール等を知り、守ってほしい |
| 3. 日本語を話せるようになりたい |
| 4. 日本の生活習慣、文化等を理解してほしい |
| 5. ルールやマナー等、わからないことがあれば質問してほしい |
| 6. 外国人の目から見た地域づくりのアドバイスをしてほしい |
| 7. 語学を教えて欲しい |
| 8. 特にない |
| 9. その他 (具体的に御記入ください) |

問 19 あなたは、「みやぎ外国人相談センター」を知っていますか。

※みやぎ外国人相談センター
…外国人等からの様々な相談に対して、三青通話や外部多言語コールセンターなども活用しながら 13 言語で対応している相談窓口。県の委託により公益財団法人宮城県国際化協会 (MIA) 内に設置。

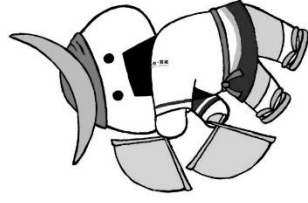
- | | |
|--------------------|----------|
| 1. 知っていて、利用したことがある | 2. 知っている |
| 3. 知らない | |

問 20 あなたは宮城県や公益財団法人宮城県国際化協会 (MIA) の多文化共生・国際交流事業について、どのように情報を入手していますか。あてはまる番号をすべて選びおつけてください。

- | | |
|--------------|------------------------------|
| 1. 宮城県ホームページ | 2. 宮城県国際化協会ホームページ (Facebook) |
| 3. 県政だより | 4. 県楽部MIA |
| 5. 友人・知人 | 6. チラシ・ポスター |
| 7. 特にない | 8. その他 |

問 21 今後、多文化共生・国際化が進むに伴い、あなた自身はどのような対応をしていきたいと思いますか。あてはまる番号をすべて選びおつけてください。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 国際交流や外国人支援のための活動 (ボランティア含む) に参加したい |
| 2. 積極的に外国の文化・経済・社会に関心を持つようにしたい |
| 3. 外国人が暮らしたい・訪れたいと思う美しいまちづくりに努めたい |
| 4. 日本の習慣や良い伝統を外国人に正しく伝えたい |
| 5. 外国人と共に地域の行事などに取り組みたい |
| 6. 外国語を話せるようにしたい |
| 7. 地域の外国人の相談のなるなど、生活支援をしていきたい |
| 8. インターネットやSNSを利用して外国の人々と交流したい |
| 9. 紛争や窮乏に苦しむ人々に物資や義援金等の支援を行いたい |
| 10. 開発途上国等で自分の技術などを活かしたい |
| 11. ホームステイ等を積極的に受け入れたい |
| 12. 特にない |
| 13. その他 (具体的に御記入ください) |



問 22 今後、多文化共生・国際化が進むに伴い、宮城県においてどのような政策が重要と考えますか。あてはまる番号をすべて選び○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 地域社会への多文化共生・国際理解に関する啓発イベントの実施 |
| 2. 学校教育での多文化共生・国際理解の充実 |
| 3. 多文化共生・国際理解に関する啓発グッズの作成・配付 |
| 4. 外国人住民と地域住民との交流促進イベントの実施 |
| 5. 防災訓練への外国人住民の参加促進 |
| 6. 外国人住民の地域社会適応力向上のための日本語学習支援の充実 |
| 7. 外国人児童・生徒に対する日本語指導の充実 |
| 8. 母国語や母国文化の学習に関する支援及び啓発 |
| 9. 外国人住民の相談体制の充実（みやぎ外国人相談センターの設置） |
| 10. 外国語及び「やさしい日本語」での情報発信の推進（案内表示や自治体HP等） |
| 11. 災害時における外国人支援のための通訳ボランティアの体制整備 |
| 12. 外国人を雇用する県内事業者への支援 |
| 13. 外国人の県内事業者への就職支援 |
| 14. 特になし |
| 15. その他（具体的に御記入ください） |

問 23 最後に、多文化共生や国際交流について御意見などがあれば御記入ください。

--

アンケート調査への御協力ありがとうございました。

令和4年度宮城県
多文化共生アンケート調査（日本人対象調査）
調査結果報告書

令和5年3月発行

【編集・発行】宮城県経済商工観光部国際政策課
〒980-8570 仙台市青葉区本町三丁目8番1号
TEL 022-211-2972 FAX 022-268-4639
URL <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kokusaisei/>

【集計・分析】株式会社サーベイリサーチセンター